



# 上北山村個別施設計画

令和3年3月

# 目次

---

I 個別施設計画の概要	1
1. 個別施設計画策定の背景と目的	1
2. 個別施設計画の計画期間と範囲	3
II 公共施設を取り巻く環境	5
1. 人口の推移と推計	5
2. 財政状況	7
3. 公共施設の現状	10
III 公共施設に関する基本方針	12
1. 目指すべき村づくりの基本方針	12
2. 「上北山村公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針	13
3. 施設更新の方向性と更新費用の試算	15
IV 施設類型別の基本方針	23
1. 対象施設の一覧	23
2. 個別施設の状況	25
3. スポーツ・レクリエーション系施設の方針	27
4. 行政系施設の方針	31
5. 医療施設の方針	36
6. 村民文化系施設の方針	38
7. 産業系施設の方針	43
8. 社会教育系施設の方針	46
9. その他の方針	50
V まとめ	56
1. 個別施設計画の達成による財政効果	56
2. 個別施設計画における現状認識と推進体制	58

---

本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

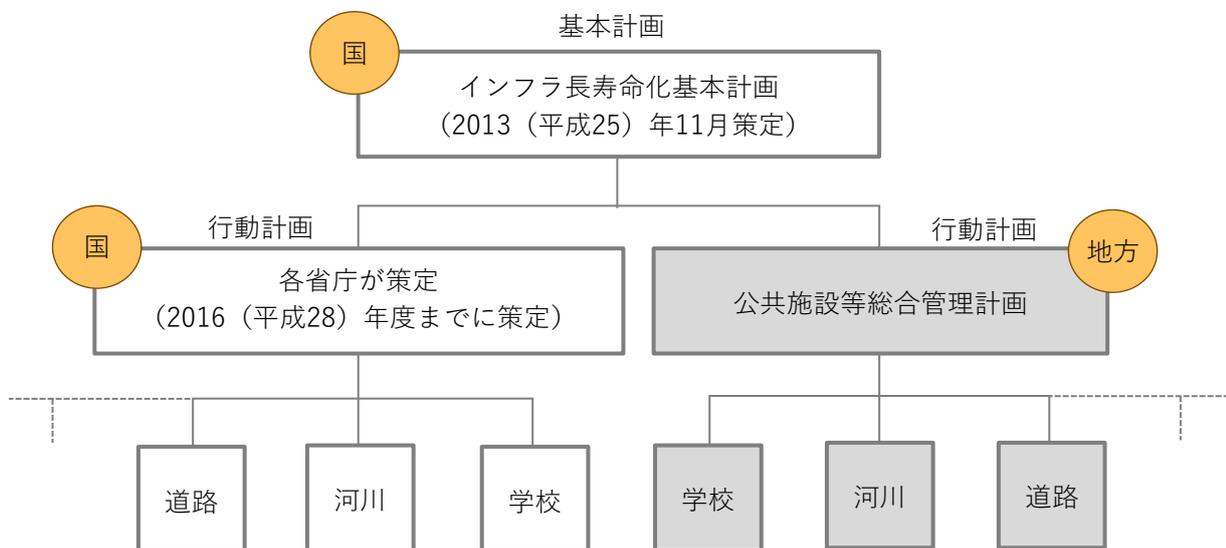
# I 個別施設計画の概要

## 1. 個別施設計画策定の背景と目的

### (1) 個別施設計画策定の背景

全国的に高度経済成長期に整備した公共施設の多くで老朽化が進行し、近い将来、一斉に更新時期を迎えようとしています。

国においては、2013（平成25）年11月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理費や更新を着実に推進するための行動計画や施設ごとの個別施設計画の策定を要請しています。



(参考：総務省 [インフラ長寿命化計画の体系])

本村の公共施設は、1982（昭和57）年度及び1994（平成6）年度に整備された建物の延床面積が比較的多くなっています。また、1981（昭和56）年度以前に整備された旧耐震基準の建物の割合は20.2%となっています。

公共施設の老朽化に伴い、倒壊等の発生確率が高くなると、住民による安心安全な公共施設の利用に支障を来すことが懸念されます。

安全に利用できる公共施設を提供するためには、大規模な修繕や建替え等を実施する必要性があり、特に40年以上経過した公共施設に対する老朽化対策が課題となります。いっぽうで生産年齢人口の減少による税収の低下や高齢者の増加による社会保障費の拡大等により厳しい財政見通しであることから、保有する全ての公共施設の数と規模をそのまま維持管理し、更新していくことは困難です。

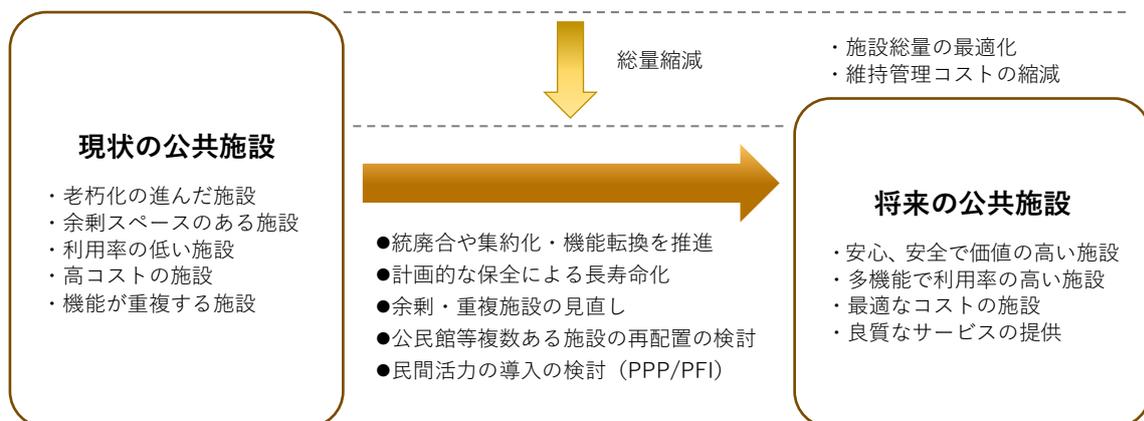
## (2) 個別施設計画策定の目的

このような背景から、本村における公共施設等の適正配置や効果的・効率的な運営の方向性を示すべく、2017（平成29）年3月に公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として「上北山村公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）」を策定しました。そしてこの度、総合管理計画の基本方針に基づき、施設ごとの取組方針等を示す計画（以下、「個別施設計画」という。）を策定します。

### ◆個別施設計画に基づく施設ごとの主な取組方針◆

- 財政制約下での適正な資産更新（更新や統合・廃止等）
- 人口減少時代に伴う適正施設数の調整
- 既存施設の長寿命化工事による経済的耐用年数の延長

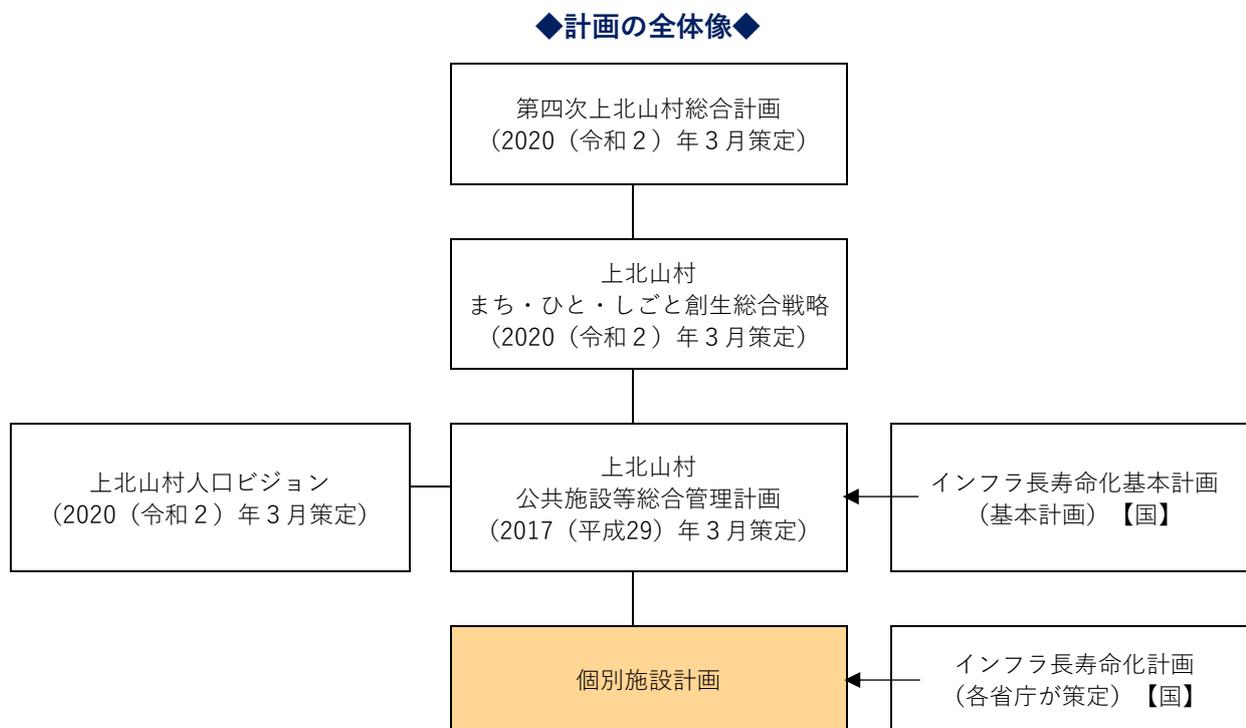
### ◆個別施設計画の目指すべき方向性（持続可能な村づくりの実現へ）◆



### (3) 個別施設計画とその他の計画との位置づけ

本村では最上位計画である「第四次上北山村総合計画」のほか、各種計画に基づき村づくりを行っています。本計画は、これらの各計画を整合し、補完するものです。

各種計画の全体像は、以下のとおりです。



## 2. 個別施設計画の計画期間と範囲

### (1) 計画期間

計画期間は、2021（令和3）年度から2046（令和28）年度までの26年間とし、更新費用の試算については、2021（令和3）年から2060（令和42）年までを対象とします。ただし、本計画は今後の上位・関連計画の更新や社会・経済情勢の変化等に応じて、見直しを行っていきます。

## (2) 対象施設

### ■本計画の対象施設

	施設分類名	主な施設
1	スポーツ・レクリエーション系施設	フォレストかみきた、西原健康増進施設
2	行政系施設	上北山村役場、上北山村振興センター
3	医療施設	ワースリビングかみきた
4	村民文化系施設	村民総合会館、西原ふるさとふれあい館
5	産業系施設	特産品加工センター、大台ヶ原物産店
6	社会教育系施設	郷土文化保存伝習施設
7	その他	教員住宅、医師住宅

注) 公営住宅及び学校校舎等は対象外としています。

## (3) 議会や住民との合意形成

本計画の対象は広範囲にわたり、施設を利用する住民にとっての影響は大きいといえます。このため、本計画の改訂等を行っていくうえでは、住民ニーズの把握に努めるとともに情報公開を積極的に進めながら、住民に理解と協力を求め、効率的で効果的な施策を実施するよう配慮します。加えて、以下の考えのもとで議会や住民との対話の機会を設ける等、合意形成を図りながら取組を進めていくものとします。

- ① 客観性を持った説明が可能となるよう、必要な情報を整備します。また、ホームページに掲載する等、情報の公開を進め、透明性の確保を図ります。
- ② 住民や議会とともに今後の公共施設のあり方を共に考えていきます。その際、公共施設が抱える課題を住民や議会に伝え、分かりやすい情報を提供できるように努めます。
- ③ 計画段階においては、常に最適な内容を検討するとともに、段階を追って合意を得ていくこととします。なお、老朽化が著しい施設で早急な対応が必要な場合等は、長期的な計画とは切り離れた短期的な取組として実施していくものとします。

## II 公共施設を取り巻く環境

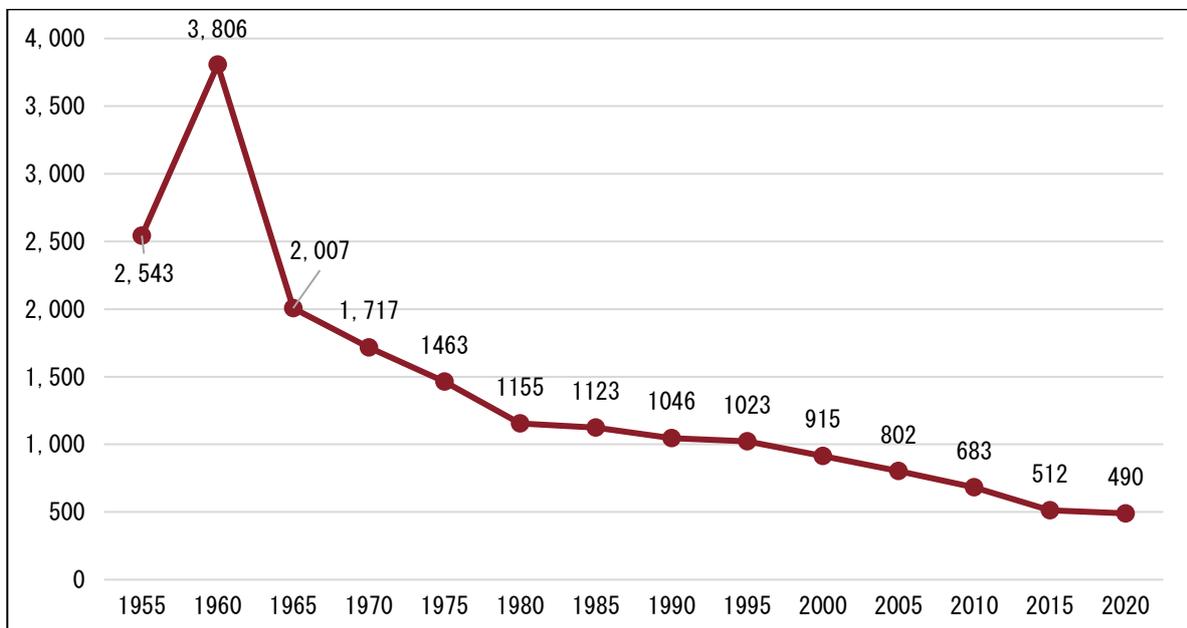
### 1. 人口の推移と推計

本村の総人口は、1955（昭和30）年度以降、ダム工事の影響により一時的に増加した1960（昭和35）年度を除き、減少し続けています。国勢調査による調査人口は、1955（昭和30）年度には2,543人でしたが、住民基本台帳人口に基づく2020（令和2）年度の人口は490人であり、著しい減少傾向が続いています。また、2010（平成22）年度から2015（平成27）年度の5年間の人口は25.0%減で、東日本大震災の被災地を除くと全国で最も減少率が大きい市町村となっています。

年齢3区分別人口については、1980（昭和55）年度と2020（令和2）年度を比較すると、65歳以上の高齢者の人口は184人から249人へ増加している一方、0歳～14歳の年少者の占める割合は227人から14人に大幅に減少しています。2020（令和2）年度の総人口に占める高齢者の比率は、50.8%に達しており、少子高齢化が著しく進行しています。

「第四次上北山村総合計画」（2020（令和2）年3月）では、少子化対策に向け子育て支援や移住支援等を行うことで、2060（令和42）年度には2015（平成27）年の社人研推計による人口推計の129人を上回る130人を確保することを目標としています。

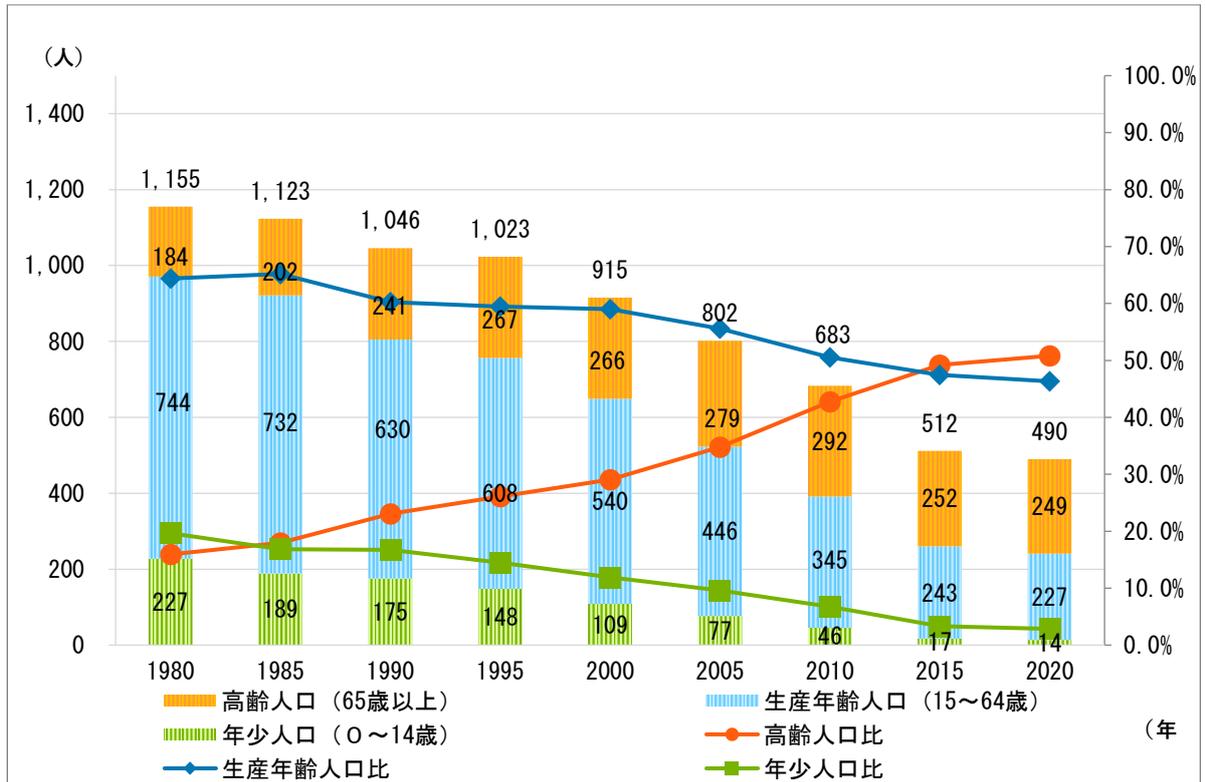
◆本村の総人口の推移◆



注）1955～2015年度は国勢調査に基づく人口、2020年度のみ住民基本台帳に基づく人口

（資料：公共施設等総合管理計画P.6を一部改変）

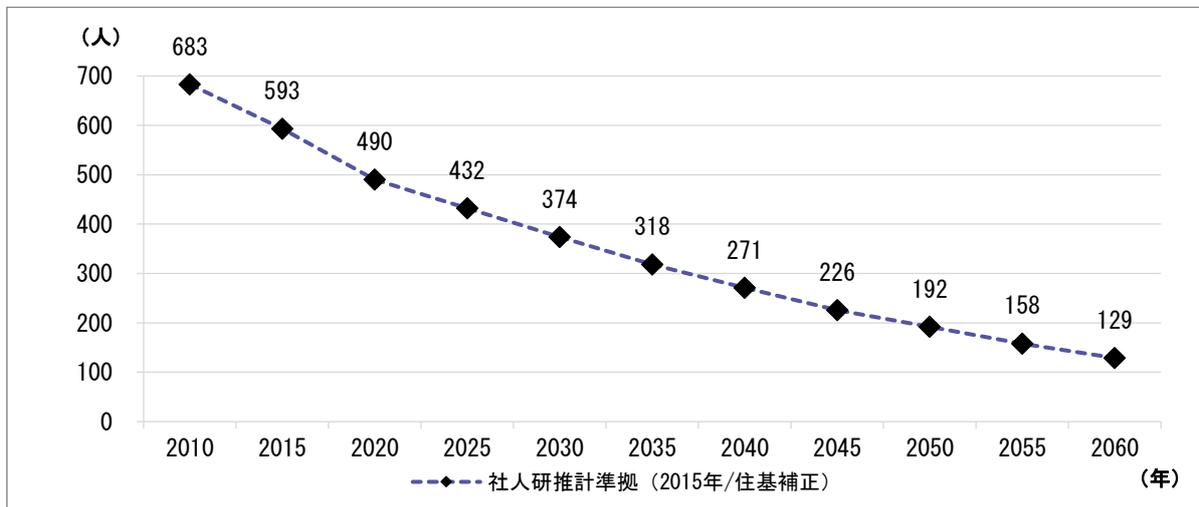
◆年齢3区分別本村の総人口の推移◆



注) 1955~2015年度は国勢調査に基づく人口、2020年度のみ住民基本台帳に基づく人口

(資料：公共施設等総合管理計画P.4を一部改変)

◆本村の総人口の推計◆



(資料：上北山村総合戦略P.77を一部改変)

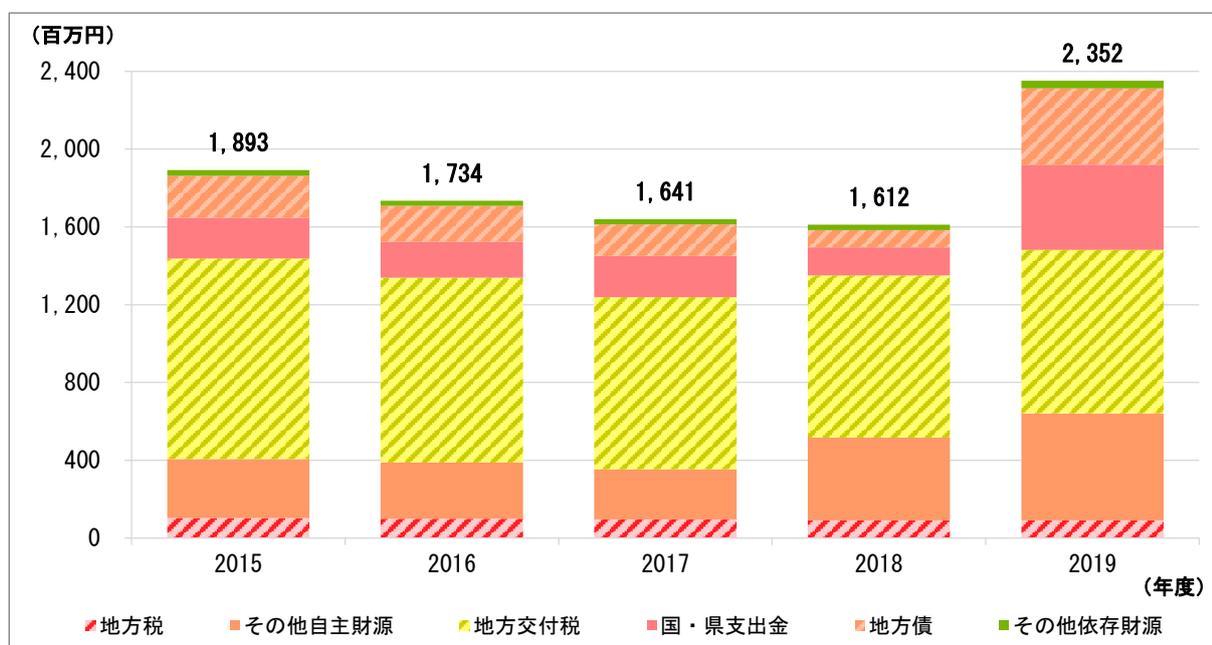
## 2. 財政状況

### (1) 決算額の推移（性質別・普通会計決算）

本村の歳入は16億円から19億円の規模で推移しており、歳出は13億円から17億円の規模で推移していますが、2019（令和元）年度決算においては、フォレストかみきたのリニューアル工事等が影響し、歳入が23億5千万円、歳出が20億6千万円となりました。

2019（令和元）年度の歳入の主な内訳は、地方交付税が8億4千万円と最も多く、全体の35.7%を占め、次いで地方債が3億9千万円となっています。主な自主財源（地方公共団体が自らの権限に基づいて自主的に収入できる財源）である地方税は9千万円であり、歳入の3.9%を占めていますが、人口の減少に伴い、その金額は年々減少しています。

◆普通会計における決算の推移（歳入）◆



（単位：百万円）

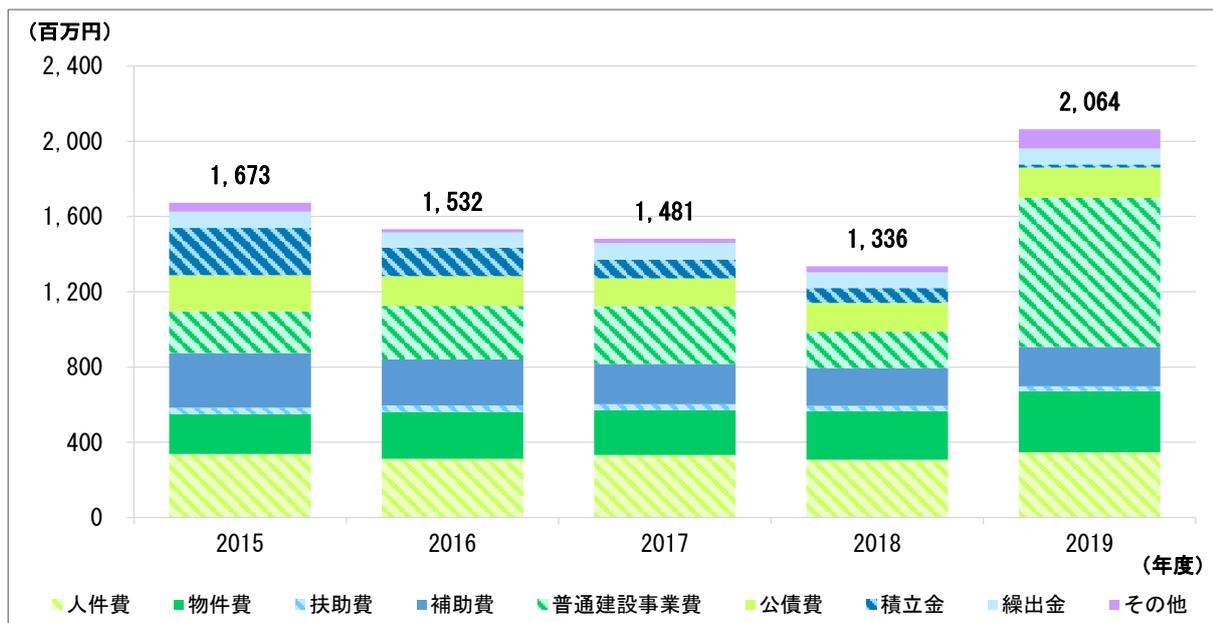
年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R元)
地方税	103	99	96	92	92
その他自主財源	304	290	258	425	550
地方交付税	1,031	950	885	834	840
国・県支出金	210	185	211	144	438
地方債	215	184	163	89	393
その他依存財源	30	26	27	28	39
歳入合計	1,893	1,734	1,641	1,612	2,352

（資料：公共施設等総合管理計画及び財政状況資料集）

2019（令和元）年度の歳出の主な内訳は、人件費が3億5千万円で、全体の16.8%を占め、次いで補助費等（村から他の地方公共団体や民間に対して、行政上の目的により交付される現金的給付に係る経費）が2億1千万円となっています。扶助費（社会保障制度の一環として社会福祉を支えるための経費）の占める割合は、全体の1.3%と最も少ないですが、今後、高齢化が進行するにつれて増加することが考えられます。

今後も厳しい財政状況が続く中、歳入の確保や歳出の抑制への取組を推進していく必要があります。

◆普通会計における決算の推移（歳出）◆



（単位：百万円）

年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R元)
人件費	338	313	333	308	346
物件費	210	249	237	257	326
扶助費	36	33	32	29	26
補助費等	291	246	214	200	209
普通建設事業費	221	285	307	194	794
公債費	192	157	149	153	159
積立金	252	151	100	80	17
繰出金	86	81	88	82	85
その他	47	17	21	33	102
歳出合計	1,673	1,532	1,481	1,336	2,064

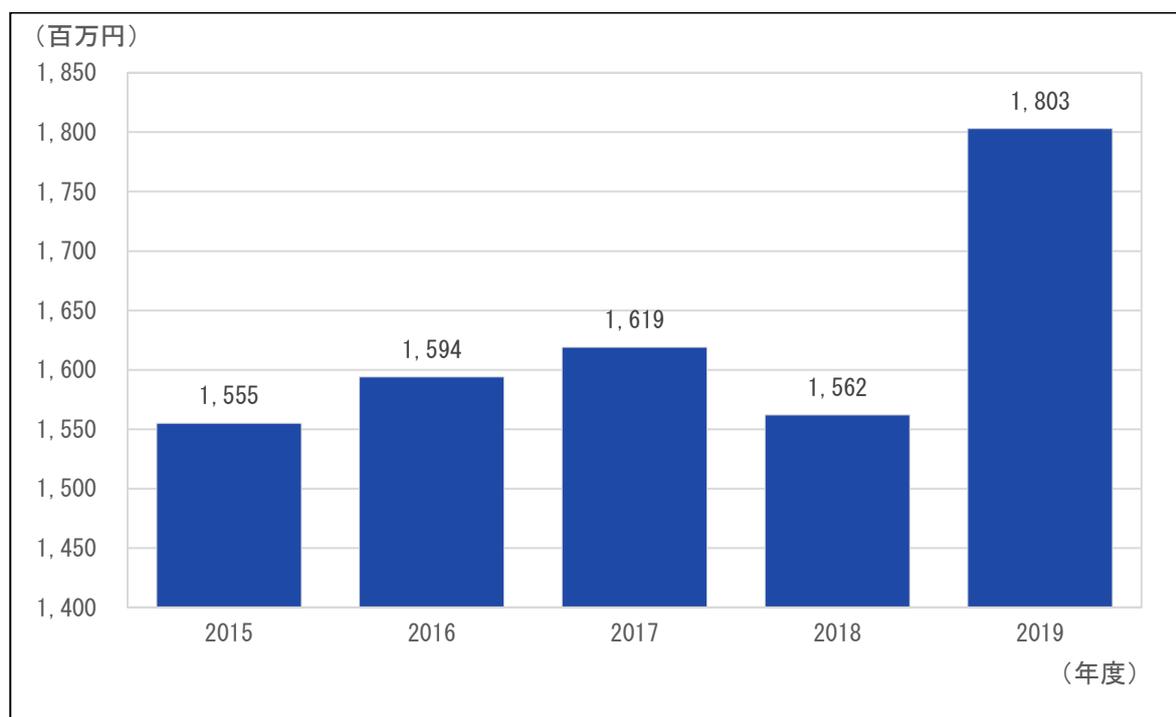
（資料：公共施設等総合管理計画及び財政状況資料集）

## (2) 地方債残高の推移

本村の地方債の残高推移は以下のとおりです。2015（平成27）年度から2018（平成30）年度にかけては、16億円程度で推移していましたが、2019（令和元）年度においてはフォレストかみきたのリニューアル工事等によって大幅に増え、地方債の残高は18億円となりました。

本村では、将来にわたって長期間利用する施設の建設・整備等を行う場合に必要に応じて、地方債を借り入れています。地方債の返済は長期にわたり、将来の財政運営の硬直化につながるので、地方債の発行にあたっては慎重に検討し、発行額の抑制に努めています。

### ◆地方債残高◆



(資料：2015（平成27）年～2018（平成30）年度：財政状況資料集  
2019（令和元）年度：歳入歳出決算書)

### 3. 公共施設の現状

#### (1) 2019（令和元）年度末における対象公共施設の概要

これまでに、本村では人口変動や行政需要に対応して、学校、庁舎、村営住宅等の公共施設や道路、橋梁、簡易水道等のインフラ系施設を建設し、村民の生活基盤、地域コミュニティの拠点等として大きな役割を果たしてきました。

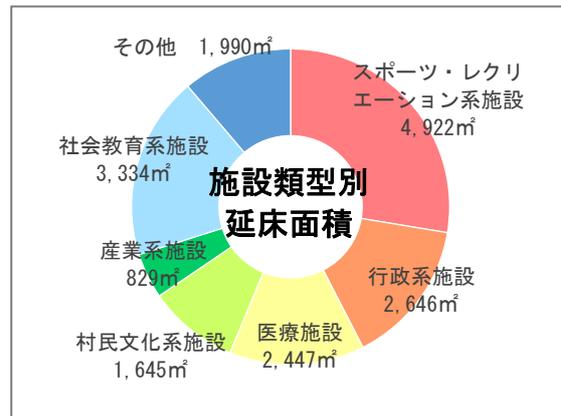
このうち、本計画が対象とする公共施設の施設数は37施設、総延床面積は17,812㎡となります。

このまま同量の公共施設を保有し続けた場合、公共施設等の維持に係る村民の負担も大きくなっていくことが予想され、施設総量の適量化が必要になると考えられます。

施設類型別では、総延床面積が最も多いのはスポーツ・レクリエーション系施設で、6施設で4,922㎡を占めています。

◆本計画の対象施設における施設分類別棟数と総面積◆

施設類型	建物数	総延床面積（㎡）
スポーツ・レクリエーション系施設	6	4,922
行政系施設	8	2,646
医療施設	1	2,447
村民文化系施設	5	1,645
産業系施設	3	829
社会教育系施設	5	3,334
その他	9	1,990
合計	37	17,812

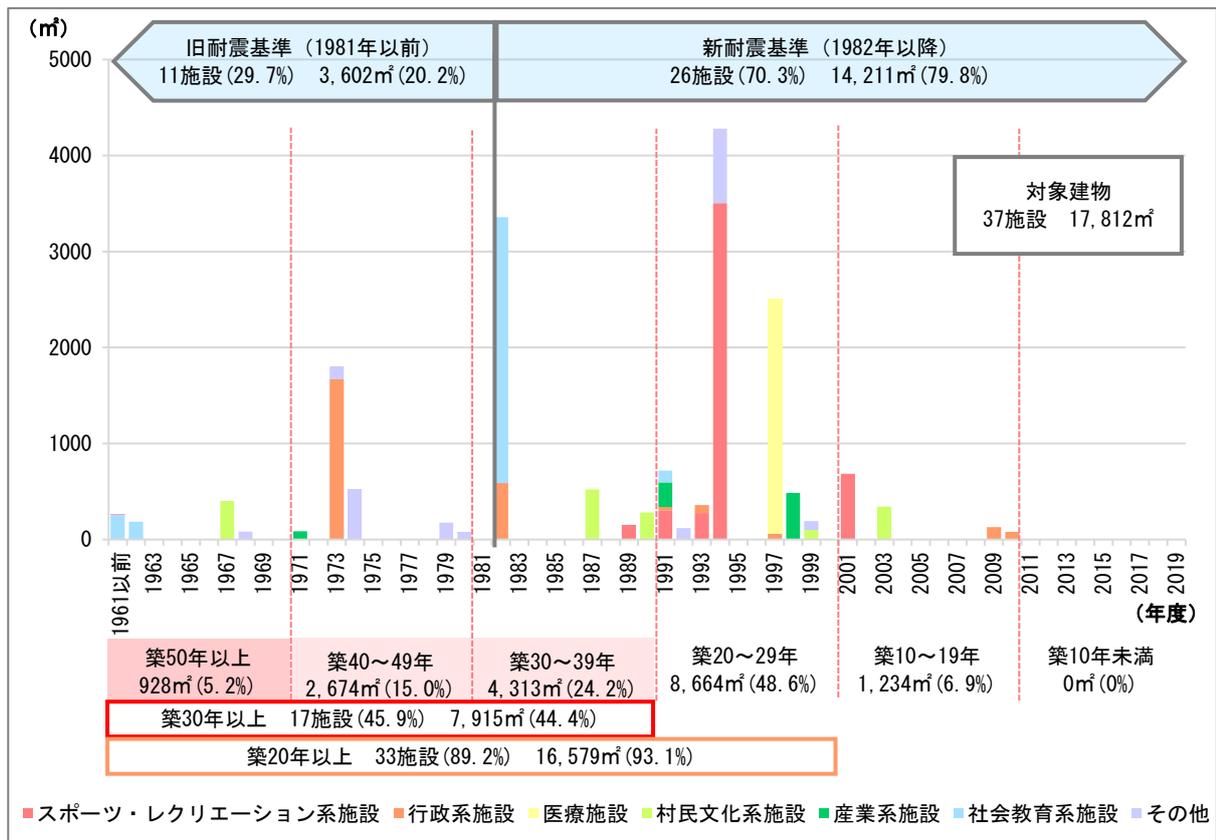


## (2) 築年度別整備状況

築年別整備状況をみると、1994（平成6）年度に整備された施設の延床面積が最も大きくなっています。これはふれあいの郷かみきた（現フォレストかみきた）の整備によるものです。

築年数でみると、築30年を経過している施設量は17施設（45.9%）で総延床面積は7,915㎡（44.4%）となっており、築20年を経過している施設量は33施設（89.2%）で総延床面積は16,579㎡（93.1%）となっています。

### ◆築年度別整備量◆



(2020 (令和2) 年 3月31日現在)

# 川公共施設に関する基本方針

## 1. 目指すべき村づくりの基本方針

本村では、2011（平成23）年度に策定した第三次上北山村総合計画において、「大自然の力みなぎる癒しの郷」を将来像に掲げ、2019（令和元年度）までの9年間にわたって村づくりの総合的な指針としてきました。

2019（令和元）年度策定の第四次上北山村総合計画では、風光明媚な自然を将来世代にわたって守り続けるとともに、豊かな自然を生かした村づくりを進めるために「水と緑とともに生きる郷 上北山」として改訂しました。

総合計画内で「水と緑とともに生きる郷 上北山」実現のために検討した4つの計画のうち、特に本計画に関係する方向性は次のとおりです。

### （1）教育と文化を育む村づくり

- ・ 産業や特産品を官学連携で開発することに加え、地域資源の理解や発掘を地域一体となって実施します。
- ・ 生涯学習センターを利活用し、文化展や料理教室の開催により村民が常に学ぶことの出来る体制づくりや、ボルダリングやヨガ、エクササイズ教室等を通した村民の健康増進を図ります。
- ・ ユネスコエコパークに認定されている大台ヶ原や大峯山をはじめ、清流と言われる北山川や小椽川等の自然資源を活用したソフト事業の実施検討や、地域資源に触れる機会を創出することに努めます。

### （2）村民同士が支え合う村づくり

- ・ ワースリビングかみきたを拠点とした医療・保健・福祉施策を行います。
- ・ 近年、空き家・空地・耕作放棄地が増加傾向にあるため、定住施策とともに、新たな村民を受け入れる環境づくりを行います。

### （3）産業が活性化する活力のある村づくり

- ・ 森林資源を豊富に活用していくため、林産物の多角的な活用によって林業全体の発展を目指します。
- ・ 観光客が多く来訪する本村において、お土産品や商業としての特産物開発が求められています。そのため、特産物やお土産品の加工・開発を行う必要があるとともに、フォレストかみきたを中心として、村内の観光業や宿泊業の活性化を行います。

### （4）安心・安全な村民主体の村づくり

- ・ 本村の有する公共施設について、管理計画を策定し、将来的な運営体制を整えます。
- ・ 生涯学習センター（とちの木センター）の施設整備や主催のイベント開催・告知等を実施します。

## 2. 「上北山村公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針

今後、このまま全ての公共施設等を保有し続けた状態で、従前の管理手法のまま維持補修や建替えを行うことは極めて厳しい状況であるといえます。したがって、公共施設等の保有規模及び管理手法の見直しや、更新時期の分散化を図る必要があります。

厳しい財政状況の中、総人口や人口構成の動向、地域住民のニーズに対応した村づくりを目指し、総合計画との整合性を確保しながら、老朽化した施設の改修・更新を計画的かつ効率的に推進することが求められます。本村の公共施設等の現状と課題を踏まえ、長期的な視点で目指すべき管理方針を定め、全庁的な体制で取り組みます。

### ■管理に関する基本的な考え方

#### 点検・診断等の実施方針

日常の点検・保守により、建物の劣化や機能低下を防ぎ、建物をいつまでも美しく使っていくための総合的な管理運営や、点検・保守・整備等の業務を行います。また、経年による劣化状況、気候や使用特性等の外的負荷による機能低下、施設の安全性、耐久性、不具合性等について診断、評価し、各施設の課題・問題点等について把握します。

#### 維持管理・修繕・更新等の実施方針

大規模な改修や更新をできるだけ回避するため、施設特性を考慮のうえ、安全性や経済性を踏まえつつ、早期段階において予防的な修繕を実施することで機能の保持、回復を図る予防保全型維持管理の導入を図り、施設を継続的に運営、利用できるよう推進します。

#### 安全確保の実施方針

危険性が認められた施設については、診断、評価し、その内容に沿って安全確保のため改修を実施します。（ただし、利用率、効用等を勘案し、総合的な判断により改修せず、供給廃止を検討する場合もあります。）また、点検、診断等により高度な危険性が認められた施設、老朽化等により供用廃止され今後も利用見込みのない施設においては、統廃合及び取り壊しについて検討します。

#### 耐震化の実施方針

住民が安心して暮らすことができるよう、総合的な防災対策を推進し、災害に強い村づくりを推進します。公共施設等の多くは、災害時には避難場所として活用され、庁舎等では被害情報の発信や災害対策指示が行われる等災害活動の拠点として重要とされています。平常時の利用者の安全確保だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点からも耐震化について推進し、計画的に取り組みます。

### 長寿命化の実施方針

今後の厳しい財政状況のもとでは、公共施設等の全ての不具合や劣化等に、従来のように改築し対応することは極めて困難な状況にあります。そのため、定期的な点検・診断等による早期段階において予防的な維持管理の実施を徹底することで、大規模な改修等が必要とならないよう機能の保持、回復を図ります。また、ライフサイクルコストを縮減し財政負担の抑制と平準化を図ります。

### 統合や廃止の推進方針

施設については、人口の減少に伴い利用頻度が低くなるものもあり、統合・複合化等も視野に入れ、機能を維持しつつ施設の整理・最適化を図ります。

### 総合的かつ計画的な管理を実施するための体制の構築方針

施設を中長期的な視点で整備、運営していくためには、予算措置は不可欠であり、財政主管課及び各関係課と連携し、また総合計画、財政計画と整合性を持たせ、経済的・効率的に運営するよう取組体制を構築します。また、全庁的に計画を推進するために、公共施設に関する現状を全職員が把握し、常に効率的、効果的な運営ができるよう、職員一人ひとりが意識を高め必要な取組を行います。

## ■フォローアップの実施方針

本計画の内容については、順次進捗状況を把握するとともに、本計画に合わせ実行できているか等、課題の整理、解決方策等の検討を行うため、必要に応じて調整会議等においてフォローアップを行います。また、今後の財政状況や環境の変化に応じて、適宜見直しを行います。

公共施設等のあり方の検討にあたっては、議会や村民に随時情報提供を行い、村全体で認識の共有化を図ります。

## ■施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

庁舎等の一般施設をはじめ公共施設等全般について、災害時の避難所等に指定されているものや、復旧、復興において重要な拠点となるようなインフラ施設については、重要度を勘案し修繕、改修を優先して計画的に行っていくとともに、必要に応じて調整会議等を開催し、個別に方針等を検討します。

教育文化施設、学校等の義務教育施設においては、そのほとんどが避難所等に指定されているため、耐震化等の改修を優先して計画的に行い、必要に応じて、少子化等の社会的情勢を勘案し施設全体のあり方を含め効率的、効果的に運営できるよう継続的に見直しを行い、維持管理に努めます。

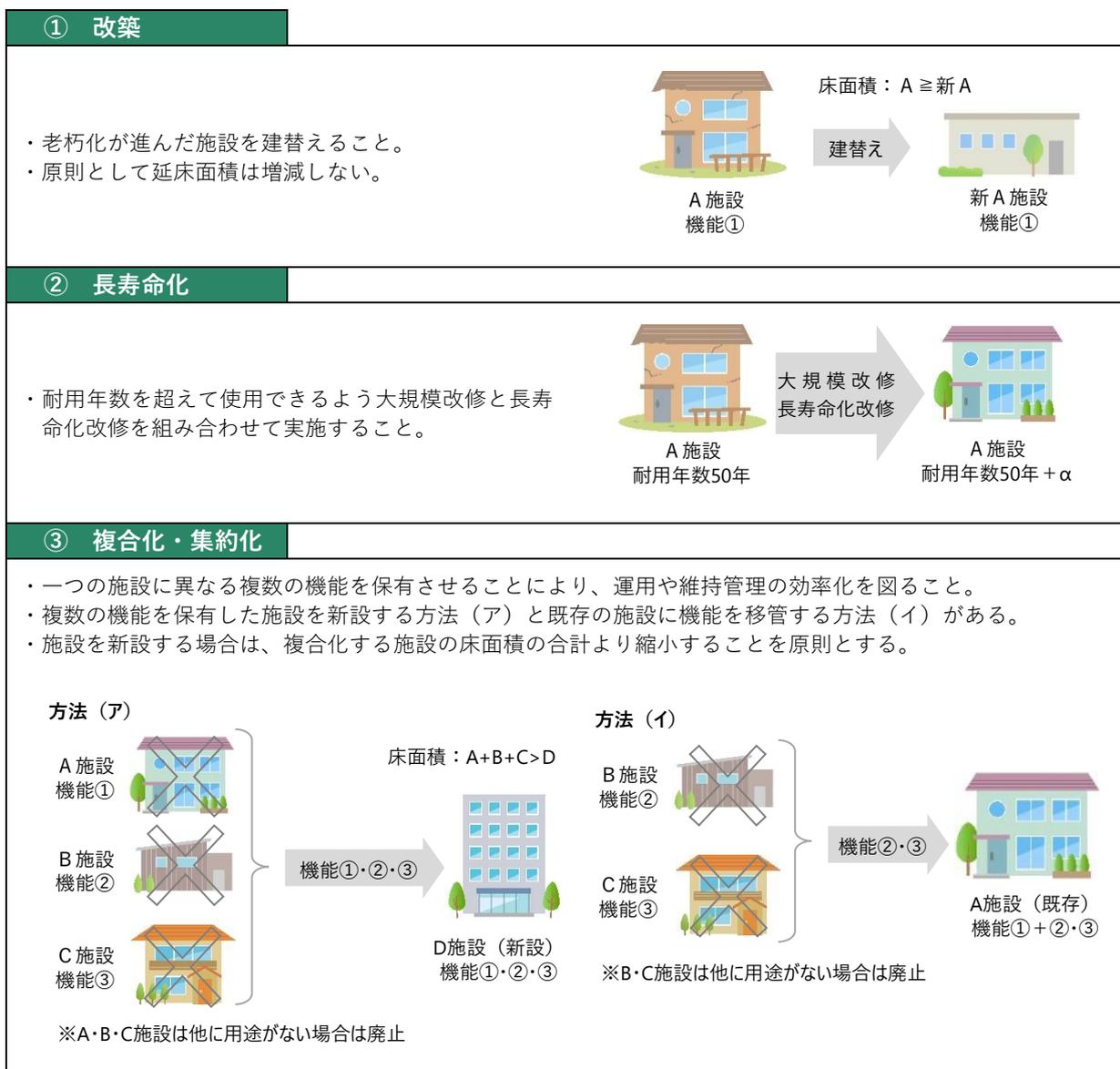
### 3. 施設更新の方向性と更新費用の試算

#### (1) 施設更新のパターン

上位計画である総合計画と総合管理計画の方針を踏まえ、本計画の本題である個別施設の取組方針について検討します。

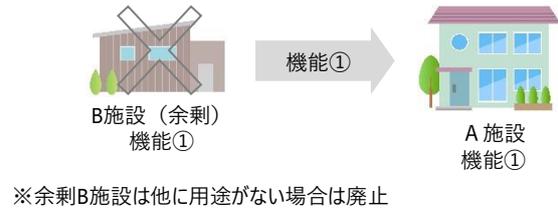
個別施設の取組方針を検討する前提として、施設更新のパターンを把握する必要があります。施設更新とは単純に「改築」するか、しないかの選択をするだけでなく、施設の状況に合った様々なパターンがあります。代表的な施設更新のパターンは次のとおりです。

#### ◆施設更新のパターン◆



#### ④ 統廃合

- ・ 余剰施設を同じ機能の施設に統合することにより保有量を最適化すること。



#### ⑤ 用途変更

- ・ 機能を廃止し新たな機能を保有させること。



#### ⑥ 譲渡

- ・ 地域や民間に現状有姿で譲渡すること。



## (2) 施設更新の方向性

### ①施設の現況把握 (第1ステップ)

施設更新の方向性を決定するために、2段階に分けて評価を行います。まず、第1ステップとして、個別施設の現況を把握します。縦軸にはハード評価として、「施設の残寿命」と「建物の耐震性」、「建物点検の結果」を設定し、施設の性能面を評価します。一方、横軸にはソフト評価として、「施設利用率・利用者数」と「コスト面での効率性」、「重要度」を設定し、施設の機能面を評価します。この2つの軸から施設を評価することで、施設の現状を4つに分類して把握します。

#### ◆ソフト評価とハード評価◆

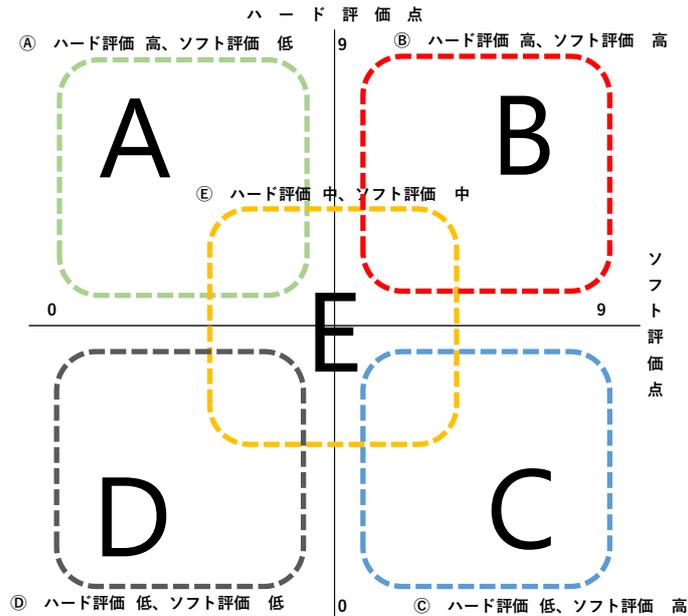


<参考>

ハード評価・ソフト評価による施設の現況と施設更新のパターンとの相関関係は次のとおりです。

例えば、「建物のハード評価は高いが、ソフト評価は低い」場合、建物は維持しつつ、他施設の機能を取込むことで利用状況の改善を図ることが出来ます。このように、施設の現況把握による「建物維持」と更新パターンの「集約化」には親和性があると言えます。

◆ハード評価・ソフト評価と施設更新のパターンとの相関関係◆



	ハード評価	ソフト評価	施設更新のパターン	概要
A (左上)	高	低	長寿命化、複合化・集約化(存続)、用途変更など	建物のハード評価は高いが、ソフト評価は低い。建物は維持しつつ、他施設の機能取込や運営方法の見直し等により、利用状況の改善を図る必要がある。
B (右上)	高	高	長寿命化、複合化・集約化(存続)など	建物のハード評価が高く、ソフト評価も高い。現状維持とするか、改善が必要な施設の機能を取込み、運営規模を拡大する取組が考えられる。
C (右下)	低	高	改築、複合化・集約化(存続/廃止)、民間譲渡、など	建物のハード評価は低いですが、ソフト評価は高い。改築により性能面向上と同時に機能集約を図る、又は機能を性能の高い他施設へ移転するなどの取組が必要となる。
D (左下)	低	低	統廃合(廃止)、民間譲渡など	建物のハード評価が低く、施設のソフト評価も低い。施設の存続を見直す必要があり、除却の検討対象となる。
E (中央)	中	中	全てのパターンの可能性がある	建物のハード評価及びソフト評価ともに平均的。人口変動、近隣の施設配置、同種の施設との相関関係などを総合的に考慮し、方向性を定める必要がある。

## ②施設更新の方向性の決定（第2ステップ）

第2ステップとして、①の現況把握を基に施設更新のパターンを考慮して、施設更新の方向性を決定します。方向性の決定においては、ハード評価とソフト評価による評点と更新パターンを単に組み合わせるのではなく、個別の具体的な状況を総合的に勘案して決定することとします。

また、方向性に応じて、従来型（事後的な修繕や建替えを実施すること）及び長寿命化型（予防的な修繕等を計画的に実施することで機能の保持・回復を図ること）それぞれの更新費用の試算を行います。

「施設更新のパターンと方向性の関係」と「方向性による更新費用の試算に与える影響」は次のとおりです。

### ◆施設更新のパターンと方向性の関係◆

	施設更新のパターン							
	①改築	②長寿命化	③複合化・集約化		④統廃合		⑤用途変更	⑥譲渡
			される側	する側	される側	する側		
方向性	改築	長寿命化	維持 廃止 除却	改築 長寿命化 維持	維持 廃止 除却	改築 長寿命化 維持	改築 長寿命化 維持	除却

方向性	分類の基準	更新費用試算時の条件		例 (長寿命化型の場合)
		従来型の場合	長寿命化型の場合	
長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ハード・ソフト評価がともに低くないこと</li> <li>■重要性の高い施設であること</li> <li>■機能集約の対象施設がない場合</li> <li>■集約、複合化により機能集約する場合</li> </ul>	「改築」として試算	「長寿命化」として試算	・計画的に予防的な修繕を行い、建物の寿命を延ばすように保全を行う。
改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ハード評価が低いこと</li> <li>■築年数40年以上、かつ「耐震性」の点数が低い(0~1点)こと</li> <li>■機能集約の対象施設がない場合</li> <li>■集約、複合化により機能集約する場合</li> </ul>	「改築」として試算	「改築」として試算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化等で危険な建物を建替える。</li> <li>・長寿命化できない構造の建物を建替える。</li> </ul>
維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ハード・ソフト評価のいずれも低いこと</li> <li>■改修しながら利用することが想定し難いもの</li> </ul>	「改築」として試算	試算の対象としない	・改築及び大規模改修、長寿命化改修を行わず修繕のみで継続使用する。
廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ハード・ソフト評価のいずれも低いこと</li> <li>■改修しながら利用することが想定し難いもの</li> <li>■他の施設と統合し、取りこまれるもの</li> </ul>	試算の対象としない	試算の対象としない	・修繕を行わず利用を止め、解体を検討する。
除却	<ul style="list-style-type: none"> <li>■解体するもの</li> </ul>	試算の対象としない	試算の対象としない	・利用を止めており解体の予定がある。

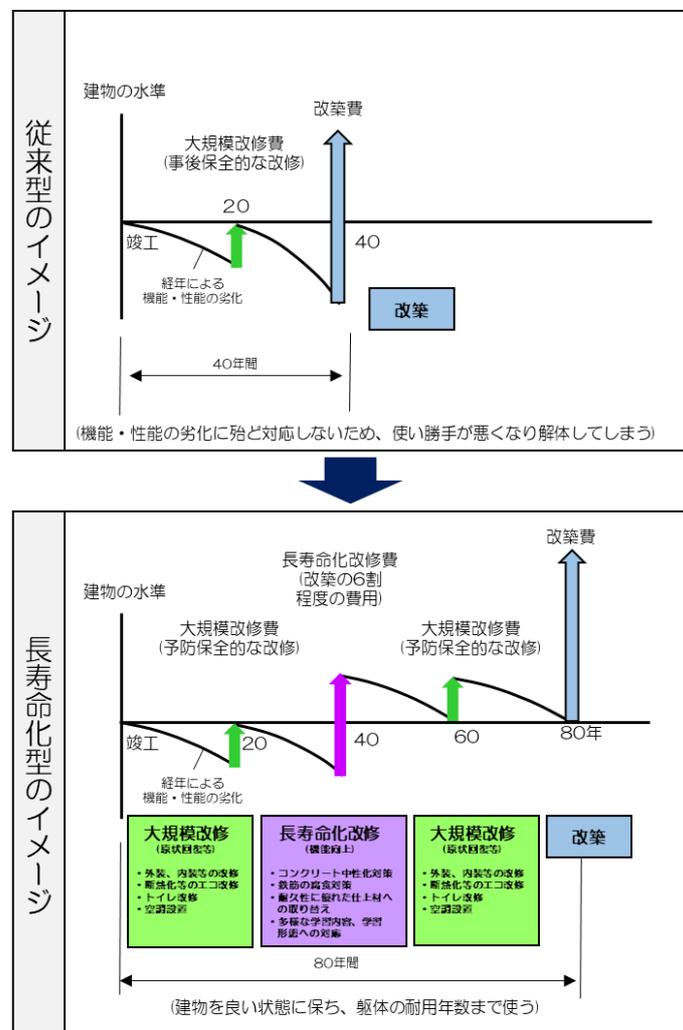
### (3) 更新費用の試算方式について (従来型と長寿命化型)

#### ①本計画内で採用する更新費用の試算方式について

中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減し、予算を平準化していくためには、公共施設の長寿命化を図り、大規模な修繕や更新を計画的に行うことが重要です。このため、本計画では、事後的な修繕や建替えを実施する「従来型」ではなく、施設特性を考慮の上、安全性や経済性を踏まえつつ、損傷が軽微な早期段階に予防的な修繕等を計画的に実施することで機能の保持・回復を図る「長寿命化型」での試算を採用します。

ただし、長寿命化型の施設管理を実施した場合の効果の分析において従来型との比較を行うため、以下に従来型と長寿命化型のイメージと②③で各々の試算条件を示します。

#### ◆ 従来型と長寿命化型のイメージ ◆



(資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書P.39より引用し一部改変)

## ②従来型でのコスト試算

従来型での更新費用の試算は、予防保全を行わず、耐用年数が到来した際に建物を「改築」（建替えのこと）、更新周期の途中で「大規模改修」を実施することを前提とします。

更新費用の試算にあたっては、統一的な基準による固定資産台帳を活用し、固定資産台帳上の延床面積に公共施設等総合管理計画で示された施設類型毎の更新単価を乗じて計算しています。

従来型での更新費用の算定条件は次のとおりです。

### ◆「従来型」のコスト算定条件◆

項目		条件
工事種別	改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>■更新費用：公共施設等総合管理計画の更新単価 × 総延床面積</li> <li>■更新周期：40年</li> <li>■更新費用を2年間に均等配分する。 実施年数より古い建物は、今後10年以内にそれらを実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。</li> </ul>
	大規模改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>■更新費用：改築での更新費用×25%</li> <li>■更新周期：20年</li> </ul>
	部位修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>■C評価の場合は今後10年以内に実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。</li> <li>■D評価の場合は今後5年以内に実施するものとし、更新費用を5年間均等配分する。</li> <li>■改築・大規模改修を今後10年以内に実施する場合を除く。</li> </ul>

※なお、表中のA評価、C評価、D評価は施設の劣化状況をA（良好）からD（劣化）の4段階で評価した場合のものです。

### ◆ 施設分類別の公共施設等総合管理計画の更新単価 ◆

施設分類	公共施設等総合管理計画の更新単価（円）
スポーツ・レクリエーション系施設	360,000
行政系施設	400,000
医療施設	400,000
村民文化系施設	400,000
産業系施設	400,000
社会教育系施設	400,000
その他	360,000

### ③長寿命化型でのコスト試算

長寿命化型のコスト試算においては、改築の場合の更新費用は従来型と同条件とし、長寿命化改修の場合は改築での更新費用の60%としています。

また、施設の更新周期について、一般的には適切な維持管理がなされ、施設を良好な状態で保持している限りにおいては、「法定耐用年数より長い物理的な耐用年数を確保でき、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70年～80年程度使用可能である」とされています。今回の更新費用の試算にあたっては、従来型の改築の更新周期を40年とし、一方、長寿命化型の改築の更新周期を80年(長寿命化改修工事は半分である40年)としています。

#### ◆「長寿命化型」のコスト算定条件◆

項目		条件
工事種別	改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>■更新費用：公共施設等総合管理計画の更新単価 × 延床面積</li> <li>■更新周期：80年（方向性が長寿命化の場合） 50年（方向性が改築の場合）</li> <li>■更新費用を2年間に均等配分する。 実施年数より古い建物は、今後10年以内にそれらを実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。</li> </ul>
	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>■更新費用：改築での更新費用×60%</li> <li>■更新周期：40年</li> <li>■更新費用を2年間に均等配分する。 実施年数より古い建物は、今後10年以内にそれらを実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。</li> <li>■A評価の場合は10年以内の長寿命化改修費用から部位修繕相当額を差し引く。</li> </ul>
	大規模改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>■更新費用：改築での更新費用×25%</li> <li>■更新周期：20年</li> </ul>
	部位修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>■C評価の場合は今後10年以内に実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。</li> <li>■D評価の場合は今後5年以内に実施するものとし、更新費用を5年間均等配分する。</li> <li>■改築・長寿命化改修・大規模改修を今後10年以内に実施する場合を除く。</li> </ul>

※なお、表中のA評価、C評価、D評価は施設の劣化状況をA（良好）からD（劣化）の4段階で評価した場合のものです。

## Ⅳ施設類型別の基本方針

### 1. 対象施設の一覧

本計画の対象とする公共施設は次の37施設とします。延床面積は2020（令和2）年3月現在の数値です。

なお、2016（平成28）年度に策定した総合管理計画では対象施設としていませんでしたが、実態を鑑みて対象施設とすべきと判断した建物（和佐又山簡易宿舍ロッジ、公用自動車車庫・倉庫・自動車車庫、上北山村立体育館、西原養魚場、民俗資料保存館）を加え、取り壊された施設及び取り壊しが予定されている施設を対象外とし、対象施設の見直しを行いました。また、用途変更された施設については、名称及び施設類型を見直しています。

学校教育系施設のうち上北山村立やまゆり学園及び公営住宅は個別の計画を作成するため、本計画では対象外とします。

施設分類名	番号	施設名	延床面積 (㎡)	取得年度
スポーツ・レクリエーション系施設	1	フォレストかみきた	3,405.46	1994
	2	上北山温泉 温泉棟	302.90	1991
	3	小処温泉	685.73	2001
	4	西原健康増進施設	274.40	1993
	5	和佐又山簡易宿舎 ロッジ (寮舎又は宿舎 20㎡×5棟)	100.00	1994
	6	大台山麓休憩施設	153.10	1989
行政系施設	7	上北山村役場	848.12	1973
	8	公用自動車車庫・倉庫・自動車車庫	587.64	1982
	9	上北山村振興センター	821.37	1973
	10	西原消防分団詰所	127.52	2009
	11	小椽消防分団詰所	84.24	1993
	12	河合消防会館	79.50	2010
	13	白川消防分団詰所	34.58	1991
	14	白川消防分団車庫	63.00	1997
医療施設	15	ワースリビングかみきた	2,446.95	1997
村民文化系施設	16	小椽青年研修所	341.00	2003
	17	渡瀬コミュニティセンター	97.72	1999
	18	西原ふるさとふれあい会館	282.50	1990
	19	村民総合会館	520.71	1987
	20	白川公民館	402.83	1967
産業系施設	21	大台ヶ原物産店	484.25	1998
	22	特産品加工センター	258.29	1991
	23	西原養魚場 (事務室、孵化槽室)	86.40	1971
社会教育系施設	24	上北山村生涯学習センター	2,161.00	1982
	25	上北山村生涯学習センター 体育館	608.00	1982
	26	郷土文化保存伝習施設	123.38	1991
	27	上北山村立体育館	257.00	1959
	28	民俗資料保存館	184.27	1962
その他	29	旧NTT宿舎	134.34	1973
	30	旧関西電力営業所	83.60	1968
	31	白川職員住宅	119.24	1992
	32	上北山やまゆり学園教職員寮	595.74	1994
	33	小椽教員住宅	80.33	1980
	34	河合教員住宅	176.00	1979
	35	医師住宅	178.86	1994
	36	旧保育園	527.36	1974
	37	マイクロバス車庫	95.00	1999

## 2. 個別施設の状況

各公共施設の方針に記載している項目の見方は以下のとおりです。

### (1) 施設別状況

各施設の構造や劣化状況を一覧で示すとともに、破損箇所の状況が分かる写真を掲載しています。

#### ■ 構造

R C	鉄筋コンクリート造
S	鉄骨造
W	木造

#### ■ 躯体性能・劣化度状況

A	おおむね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）

### (2) 主要施設の役割

主要な施設の機能や役割について記載しています。

### (3) 再取得・長寿命化コストの試算

取得価額を改築（建替え）費用とし、改築費用の60%を長寿命化改修費用としています。

#### ■ 試算例

番号	施設名称	取得価額 (千円)	改築(建替え) 費用 (千円)	長寿命化改修 費用 (千円)
1	フォレストかみきた	1,272,050	1,225,966	735,579

#### (4) 施策の具体的な方向性・対策

各施設の方向性（改築・長寿命化・維持・廃止など）及び更新費用を記載しています。減価償却率は、2018（平成30）年度末時点の公会計の固定資産台帳に記載されている減価償却累計額を用いて算出しています。また、取得年度により、更新時期を記載しています。

#### ◆各施設の方針の見方◆

方向性：評価を踏まえて決定した内容を記載  
 取得価額：対策コスト算出のベースとなります  
 （公会計情報を利用）  
 減価償却率：老朽化度合の目安の一つとして記載  
 （公会計情報を利用）

施設ごとに、他の同一施設類型の施設や近隣の施設との関係性や、特記事項を記載しています。相対的な評価を行う際の参考としています。

1. フォレストかみきた										
方向性	長寿命化		休館していた「ふれあいの郷かみきた」を2020（令和2）年6月にリニューアルオープンした、村内唯一の温泉施設併設型の宿泊施設です。村民の福祉の向上と健康増進及び、本村と都市住民との交流を目的としています。温泉施設の利用も可能で、日帰り温泉としても利用されています。							
取得価額	1,272,050千円									
減価償却率	52.80%									
年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕
対策コスト(千円)	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681

「長寿命化型」のコスト試算条件を基に算出した直近10年間の工事種別と対策コストを記載しています。

### 3. スポーツ・レクリエーション系施設の方針

#### (1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
1	フォレストかみきた	RC	1994	47	C	B	B	A	A
2	上北山温泉 温泉棟	W	1991	22	D	B	B	A	A
3	小処温泉	W	2001	22	B	B	C	A	A
4	西原健康増進施設	W	1993	22	B	B	B	B	B
5	和佐又山簡易宿舎 ロッジ (寮舎又は宿舎 20 m <sup>2</sup> ×5 棟)	W	1994	22	B	B	A	A	A
6	大台山麓休憩施設	W	1989	24	C	C	C	C	B

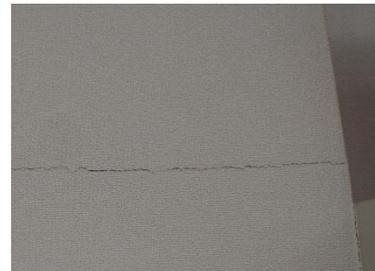
<フォレストかみきた>



屋根 錆



東側外壁 亀裂



事務室 壁 亀裂

<上北山温泉 温泉棟>



屋根 経年劣化



休憩所 雨漏り跡



調理室 天井板の損傷

<小処温泉>



露天風呂非常口 壁の腐食



風呂 非常用照明の破損

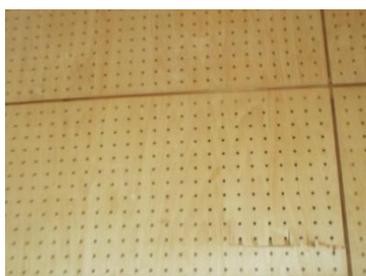


機械室通路 壁紙の剝離

<西原健康増進施設>



外壁 タイルの欠損



壁板 劣化



天井 雨漏り跡

<和佐又山簡易宿舎 ロッジ>



玄関ドア 蝶番の錆

<大台山麓休憩施設>



屋根 苔の発生



トイレ側出入口 傷み

## (2) 主要施設の役割

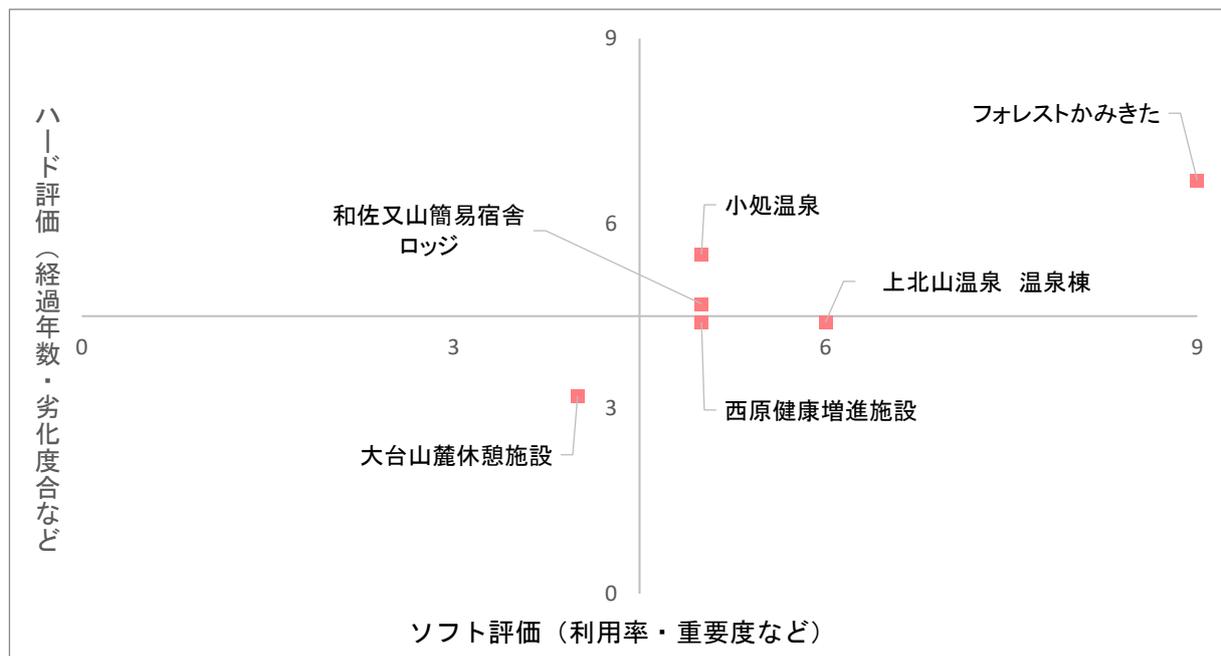
### ■フォレストかみきた

大台ヶ原や大峯奥駈道などの国内外で有名な山々を擁する本村は、登山客だけでなくヒルクライムのメッカとしてサイクリストたちにも注目されています。2020（令和2）年6月にリニューアルオープンしたばかりの当施設は、それらのアクティビティの拠点として利用できる宿泊施設で、登山靴・自転車の洗い場や自転車の整備ヤードなどのアクティビティ関連設備を備えているのが特徴です。ジビエ料理も楽しめるレストランや温泉など、日帰り利用が可能な施設もあり、観光者だけでなく村民にとっても癒しの場となっています。

## (3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名称	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
1	フォレストかみきた	1,272,050	1,225,966	735,579
2	上北山温泉 温泉棟	211,819	109,044	65,426
3	小処温泉	285,597	246,863	148,118
4	西原健康増進施設	56,416	98,784	59,270
5	和佐又山簡易宿舎 ロッジ (寮舎又は宿舎 20 m <sup>2</sup> ×5 棟)	39,932	36,000	21,600
6	大台山麓休憩施設	43,289	55,116	33,070

#### (4) 施設の具体的な方向性・対策



#### 1. フォレストかみきた

方向性	長寿命化	休館していた「ふれあいの郷かみきた」を2020(令和2)年6月にリニューアルオープンした、村内唯一の温泉施設併設型の宿泊施設です。村民の福祉の向上と健康増進及び、本村と都市住民との交流を目的としています。温泉施設の利用も可能で、日帰り温泉としても利用されています。
取得価額	1,272,050千円	
減価償却率	52.80%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕							
対策コスト(千円)	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681	4,681

※劣化状況にA評価があるため、長寿命化改修費用から部位修繕相当額を差し引いて対策コストを算出しています。

#### 2. 上北山温泉 温泉棟

方向性	廃止	温泉施設として長く親しまれてきましたが、フォレストかみきたのオープンに伴い、宿泊機能を集約したため、現在は閉館しています。浴室部分は2021(令和3)年度に解体する予定で、休憩施設部分の温泉棟についても解体を検討しています。
取得価額	211,819千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 3. 小処温泉

方 向 性	改築	主に村民と大台ヶ原への来訪者等が利用する入浴施設です。特産品の販売も行われています。「秘境にある温泉」として村の振興につながっています。木造のため、劣化度合を考慮しつつ、築50年を目途に建替えを行う方針としています。機械設備においては修繕頻度が高いため、計画的に修繕を行います。
取 得 価 額	285,597千円	
減価償却率	78.20%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 4. 西原健康増進施設

方 向 性	維持	村民の健康増進を図るための活動の拠点として利用されています。同じ敷地内にある西原ふるさとふれあい会館と一体的な管理を行いつつ、西原地区の交流施設として維持します。
取 得 価 額	56,416千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 5. 和佐又山簡易宿舎 ロッジ (寮舎又は宿舎20㎡×5棟)

方 向 性	改築	村民や世界遺産である大峯奥駈道への登山者に利用されています。類似の施設はなく、観光資源の活用のために必要な施設であり、2020（令和2）年度に作成した和佐又山整備計画に関連する施設です。木造のため、劣化度合を考慮しつつ築後50年を目途に建替えを行う方針としています。
取 得 価 額	39,932千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 6. 大台山麓休憩施設

方 向 性	維持	観光客に対する特産物の販売や観光案内を行う施設として建設され、食堂も設置されていますが、現在は閉鎖されており利用されていません。当該施設へのアクセス道路である大台ヶ原ドライブウェイが12月～4月の時期は閉鎖されることから利用できる時期が限られていることや、近隣の大台ヶ原土産店と機能が重複することから、集約もしくは用途変更の方向で検討しています。
取 得 価 額	43,289千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 4. 行政系施設の方針

### (1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
7	上北山村役場	RC	1973	50	C	C	C	C	C
8	公用自動車車庫・倉庫・自動車車庫	S	1982	31	C	B	C	C	C
9	上北山村振興センター	RC	1973	47	C	C	C	C	C
10	西原消防分団詰所	W	2009	17	A	A	B	A	A
11	小椽消防分団詰所	W	1993	17	B	B	B	B	B
12	河合消防会館	W	2010	17	A	B	A	A	A
13	白川消防分団詰所	W	1991	17	B	A	B	C	C
14	白川消防分団車庫	S	1997	31	B	B	A	A	A

<上北山村役場及び上北山村振興センター>



軒天 傷み



手すり 錆



コンクリートの欠損



天井 雨漏り跡



内壁 亀裂



内壁 亀裂

<公用自動車車庫、倉庫、自動車車庫>



天井 塗装剥がれ・錆



軒天 雨染み

<西原消防分団詰所>



車庫 天井の浮き



内壁 亀裂

<小椽消防分団詰所>



車庫 コンクリート壁の亀裂



車庫 床の亀裂

<河合消防会館>



外壁 亀裂

白川消防分団

<詰所>



車庫 コンクリート壁の亀裂

<車庫>



基礎 コンクリートの亀裂



基礎 コンクリートの欠損

## (2) 主要施設の役割

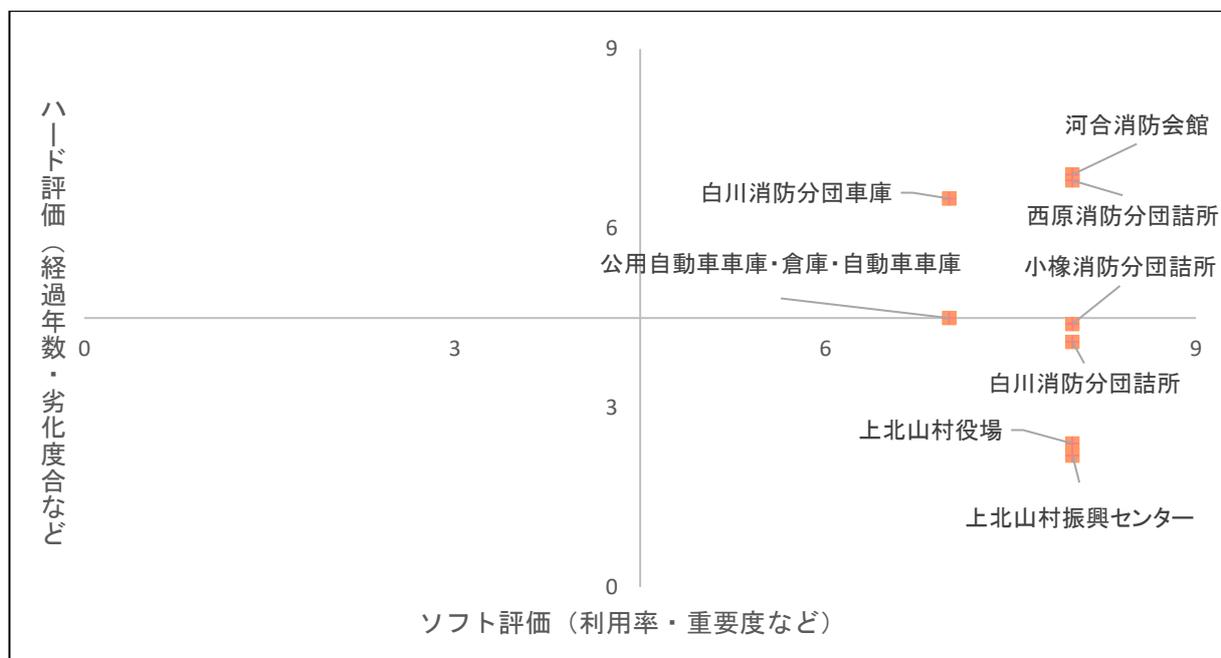
### ■上北山村役場

本村の中心部に位置する行政の拠点です。上北山村振興センターと一体的な建物として管理されています。建設からの約50年経過しており、本村内でも特に長く村民に親しまれている施設の1つです。災害発生時には防災本部となる重要な施設です。

### (3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名称	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
7	上北山村役場	233,232	339,248	203,549
8	公用自動車車庫・倉庫・自動車車庫	56,413	235,056	141,034
9	上北山村振興センター	221,770	328,548	197,129
10	西原消防分団詰所	16,275	51,008	30,605
11	小椽消防分団詰所	11,351	33,696	20,218
12	河合消防会館	15,961	31,800	19,080
13	白川消防分団詰所	5,024	13,832	8,299
14	白川消防分団車庫	5,880	25,200	15,120

### (4) 施設の具体的な方向性・対策



## 7. 上北山村役場

方 向 性	長寿命化	本村行政における中心施設であり、災害発生時には防災拠点となる重要な施設です。しかしながら、耐震性に不安があるため、耐震工事の実施、もしくは建替え、移転等の方向性を検討しています。
取 得 価 額	233,232千円	
減価償却率	90.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修							
対策コスト(千円)	24,673	24,673	24,673	24,673	24,673	24,673	24,673	24,673	24,673	24,673

## 8. 公用自動車車庫・倉庫・自動車車庫

方 向 性	維持	公用車及び役場職員の駐車場として主に利用されています。一部、河合消防分団の車両倉庫としても利用されています。近年雨漏りがみられるため、修繕の必要が出てきています。今後の利用については役場庁舎と同様に検討しています。
取 得 価 額	56,413千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 9. 上北山村振興センター

方 向 性	長寿命化	農林業振興の拠点として村内各種団体及び村民によって集会、会議、講習等に広く利用されています。役場庁舎とつながっているため、庁舎の一部として利用されています。今後、改修等を行う場合は、役場庁舎と同様に実施します。
取 得 価 額	221,770千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修							
対策コスト(千円)	23,894	23,894	23,894	23,894	23,894	23,894	23,894	23,894	23,894	23,894

## 10. 西原消防分団詰所

方 向 性	維持	西原地区の防災拠点として、消防車や機材の保管場所として利用されています。夜間警備実施時や災害時には消防団員が参集する重要な拠点となります。今後の人口減少等の状況により当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	16,275千円	
減価償却率	53.10%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 11. 小椽消防分団詰所

方 向 性	維持	小椽地区の防災拠点として、消防車や機材の保管場所として利用されています。夜間警備実施時や災害時には消防団員が参集する重要な拠点となります。今後の人口減少等の状況により当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	11,351千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 12. 河合消防会館

方 向 性	維持	河合地区の防災拠点として、消防車や機材の保管場所として利用されています。夜間警備実施時や災害時には消防団員が参集する重要な拠点となります。今後の人口減少等の状況により当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	15,961千円	
減価償却率	47.20%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 13. 白川消防団詰所

方 向 性	維持	白川地区の防災拠点として、消防車や機材の保管場所として利用されています。夜間警備実施時や災害時には消防団員が参集する重要な拠点となります。今後の人口減少等の状況により当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	5,024千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 14. 白川消防分団車庫

方 向 性	維持	白川地区の消防機材を保管する倉庫として利用されています。白川消防団詰所と同様に機能維持に努めます。
取 得 価 額	5,880千円	
減価償却率	69.30%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 5. 医療施設の方針

### (1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
15	ワースリビングかみきた	RC	1997	38	B	B	C	A	A

<ワースリビングかみきた>



診療所側 軒下樋



外壁 ブロック剥離



保健センター南側スロ-プ 塗装剥がれ



保健センター 事務室入り口 ひび



機能訓練室 雨漏り跡・クロス剥がれ



3階南側 壁材欠落

## (2) 主要施設の役割

### ■ワースリビングかみきた

少子高齢化が進む本村において、母子保健サービスや高齢者の健康保持・増進をはじめとした村民の健康づくりの支援を行う非常に重要な施設です。健康増進について知識・関心を深める様々な事業を実施します。医療においては、県と連携し自治医大卒業の医師の派遣を受け診療を行っていることに加え、月2回整形外科医による診療を行っています。今後は周辺自治体と連携しつつ、医療施設や機器、医師・看護師の充実を行います。

## (3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名称	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
15	ワースリビングかみきた	963,766	978,780	587,268

## (4) 施設の具体的な方向性・対策

### 15. ワースリビングかみきた

方向性	長寿命化	保健及び社会福祉に関する事業の推進を行う施設として利用されています。施設内には診療所も設置しており、災害時の避難場所としても指定されています。今後も、医療・保健・福祉事業の中心施設として利用する計画としており、計画的に改修を行います。
取得価額	963,766千円	
減価償却率	56.70%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕							
対策コスト(千円)	6,644	6,644	6,644	6,644	6,644	6,644	6,644	6,644	6,644	6,644

※劣化状況にA評価があるため、長寿命化改修費用から部位修繕相当額を差し引いて対策コストを算出しています。

## 6. 村民文化系施設の方針

### (1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
16	小椽青年研修所	W	2003	22	B	B	B	B	B
17	渡瀬コミュニティセンター	W	1999	22	B	B	B	B	B
18	西原ふるさとふれあい会館	W	1990	22	B	B	B	C	C
19	村民総合会館	W	1987	22	C	B	C	B	B
20	白川公民館	RC	1967	50	C	C	C	B	B

<小椽青年研修所>



天井板 劣化



天井板 劣化



外壁 シーリング劣化

<渡瀬コミュニティセンター>



タイル 汚れ



外壁 シーリング劣化



軒 汚れ

<西原ふるさとふれあい会館>



天井 雨漏り跡

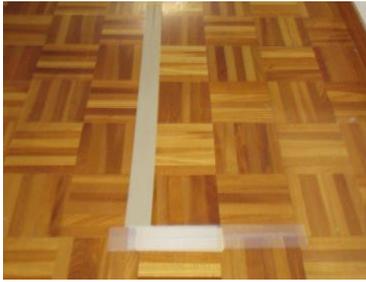


漏水



入り口 シーリング劣化

<村民総合会館>



床板 破損



浴槽 汚れ



壁紙 欠損



雨樋 錆及び破損



外壁 シーリング劣化



屋根 経年劣化

<白川公民館>



漏水



倉庫 カビの発生



外壁 塗装の劣化及び汚れ



天井板 劣化



ベランダ 排水口の詰まり



外壁 汚れ

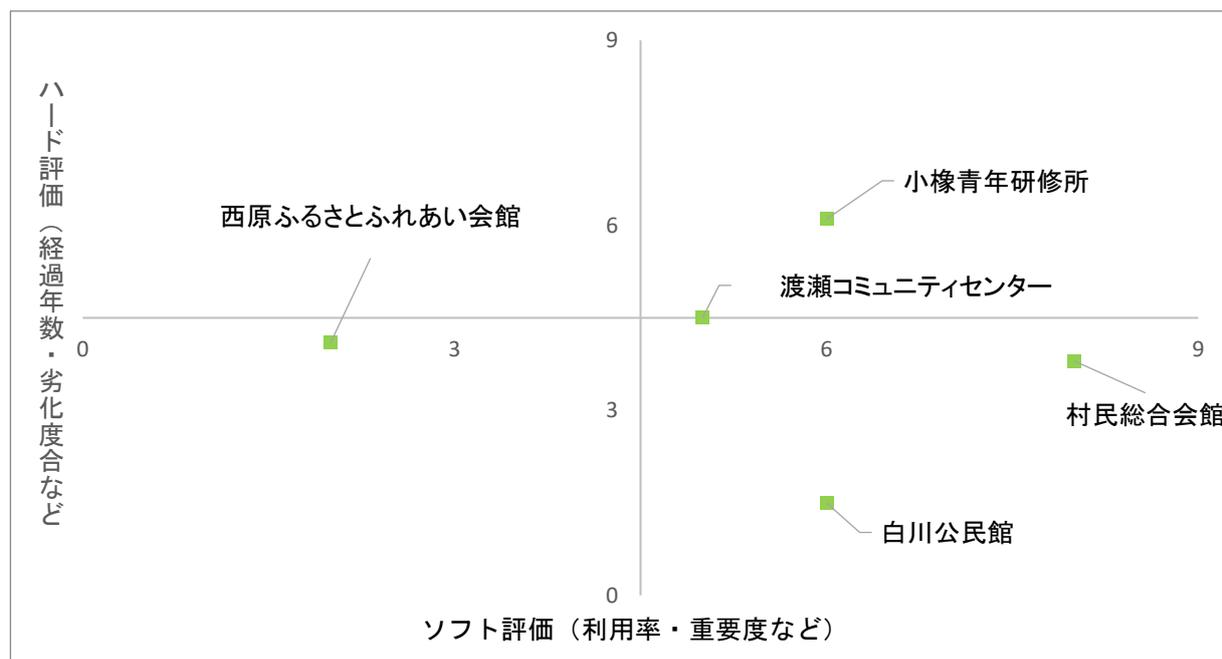
## (2) 主要施設の役割

村民文化系施設としては、各地区に1施設ずつ設けています。普段はサークル活動や集会施設として頻繁に利用されています。中には地区内唯一の避難所となる施設もあるため、劣化状況を把握しつつ機能維持に努める方針です。

## (3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名称	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
16	小椽青年研修所	54,560	136,400	81,840
17	渡瀬コミュニティセンター	20,163	39,088	23,453
18	西原ふるさとふれあい会館	43,782	113,000	67,800
19	村民総合会館	102,546	208,284	124,970
20	白川公民館	110,778	161,132	96,679

## (4) 施設の具体的な方向性・対策



## 16. 小椽青年研修所

方 向 性	維持	村内各種団体及び一般住民の集会や研修を行うために利用されています。避難所として指定されている防災上重要な施設ですが、今後の人口減少等の状況により当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	54,560千円	
減価償却率	69.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 17. 渡瀬コミュニティセンター

方 向 性	維持	地域住民の交流の促進と地域産業育成を図るために利用されています。避難所として指定されている防災上重要な施設ですが、今後の人口減少等の状況により当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	20,163千円	
減価償却率	87.40%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 18. 西原ふるさとふれあい会館

方 向 性	維持	地域住民の交流の促進と地域産業育成を図るために利用されています。同じ敷地内にある西原健康増進施設と一体的な管理を行いつつ、西原地区の交流施設として維持します。
取 得 価 額	43,782千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 19. 村民総合会館

方 向 性	維持	コミュニティ活動の拠点として利用されています。定期的にサークル活動が行われている等、近隣の渡瀬コミュニティセンターより利用される頻度が高いです。避難所として指定されており、防災上重要な施設ですが、今後の人口減少等の状況により当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	102,546千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 20. 白川公民館

方 向 性	維持	村内各種団体及び一般住民の集会・研修を行うために利用されています。トイレ・給食設備・冷暖房が整備されています。避難所としての指定もされており、防災上重要な施設です。しかしながら、耐震性に不安があり、今後の方針については検討を行っています。また、他の公民館と同様に今後の人口減少等の状況も考慮して当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	110,778千円	
減価償却率	100.00%	

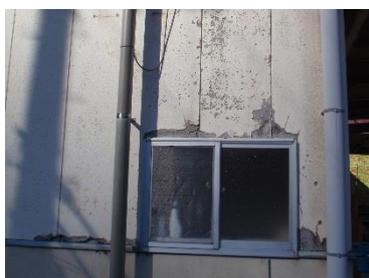
年度	2021 (R 3)	2022 (R 4)	2023 (R 5)	2024 (R 6)	2025 (R 7)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 7. 産業系施設の方針

### (1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
21	大台ヶ原物産店	W	1998	24	A	B	B	A	B
22	特産品加工センター	S	1991	31	B	D	D	C	C
23	西原養魚場（事務室、孵化槽室）	S	1971	5	D	D	D	C	C

#### < 特産物加工センター >



南側外壁 壁材の欠落



加工室天井 カビの発生



加工室床 亀裂

#### < 西原養魚場 >



倉庫外壁 汚れ

## (2) 主要施設の役割

### ■大台ヶ原物産店

吉野地域・上北山村の特産品などの販売及び食事の提供を行っている施設で、本格スパイスチキンカレー・うどん・柿の葉寿司などのメニューが人気です。西大台地区に多く残されている原生林、夜には美しい星空を求めて多くの観光客が訪れます。

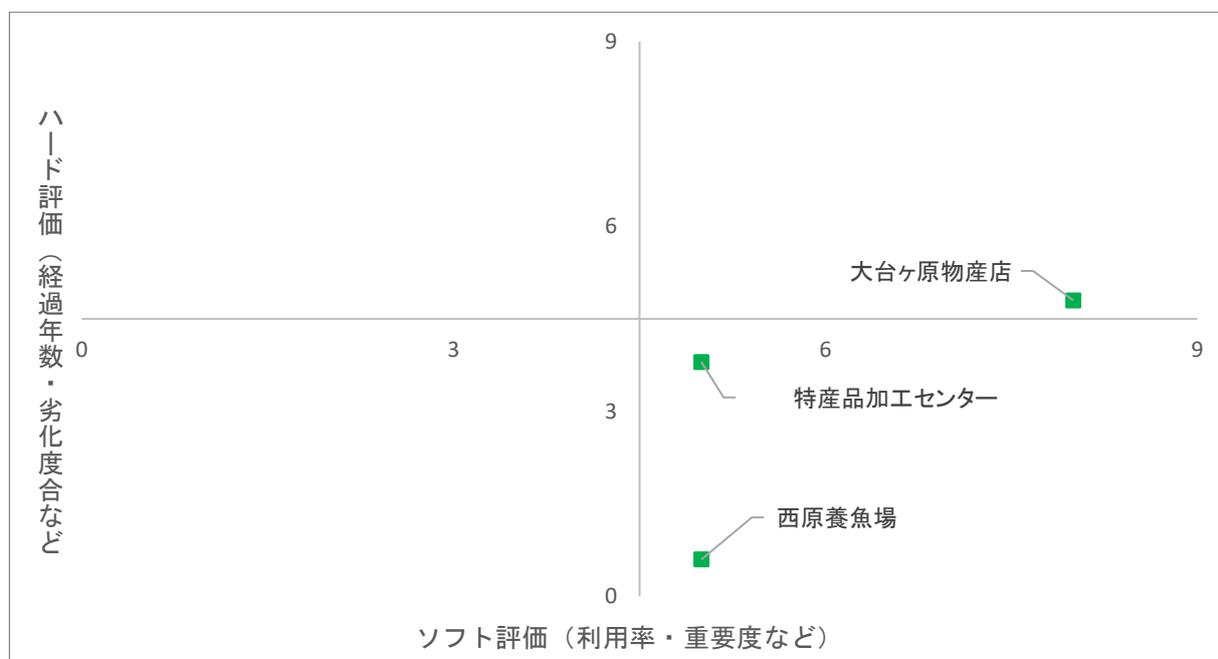
### ■特産品加工センター

深い緑に包まれた本村では、その自然から生まれる素材を活かして、様々な名物、特産品が生まれ、山里ならではの素朴な味わいと手作りの温かみが、自然愛好家の注目を集めています。一年を通して、とち餅、コンニャクなどの食品を製造しています。

## (3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名称	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
21	大台ヶ原物産店	181,634	193,700	116,220
22	特産品加工センター	28,338	103,316	61,990
23	西原養魚場（事務室、孵化槽室）	2,919	34,560	20,736

## (4) 施設の具体的な方向性・対策



## 21. 大台ヶ原物産店

方 向 性	改築	大台ヶ原を訪れる観光登山客等に食事の提供や特産物の販売を行う施設です。大台ヶ原観光の中心的な施設として位置づけています。2021（令和3）年度からは指定管理者制度を利用し、より質の高いサービスを提供することを目指します。木造のため、劣化度を考慮しつつ、築50年を目途に建替えを行う方針としています。
取 得 価 額	181,634千円	
減価償却率	84.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 22. 特産品加工センター

方 向 性	維持	村内の農産物等の資源を利用し、地域の特産物として加工・生産を行う施設として利用されています。使用頻度が高い重要な施設といえますが、類似機能を持つ他の施設を改修すれば代替が可能であるため、利用状況等を考慮し方向性を検討します。そのため、当面は機能維持に努めます。外壁と内装の劣化が激しいため、修繕を頻繁に行っています。
取 得 価 額	28,338千円	
減価償却率	89.10%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 23. 西原養魚場（事務室、孵化槽室）

方 向 性	維持	村内の事業者へ貸し出し、特産品であるアマゴの養殖を行う施設として利用されています。建物の改修については、貸し出し先の事業者と検討を行ったうえで実施します。
取 得 価 額	2,919千円	
減価償却率	-	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 8. 社会教育系施設の方針

### (1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
24	上北山村生涯学習センター	RC	1982	47	A	B	B	A	A
25	上北山村生涯学習センター 体育館	RC	1982	47	C	B	B	B	B
26	郷土文化保存伝習施設	W	1991	22	B	B	B	B	B
27	上北山村立体育館	W	1959	22	C	C	C	C	C
28	民俗資料保存館	W	1962	24	C	C	C	C	C

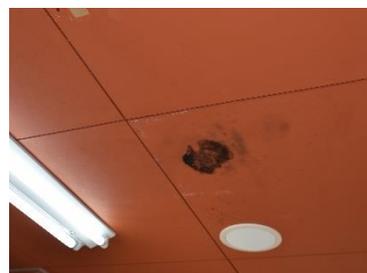
<上北山村生涯学習センター>



外壁 汚れ



非常階段 錆



天井 雨漏り跡

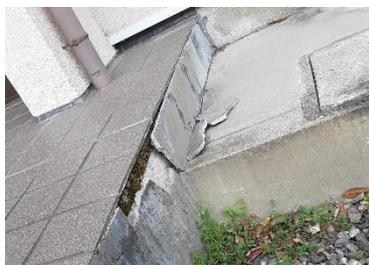


床 破損



配管 錆

<郷土文化保存伝習施設>



出入口 経年劣化



縦樋 破損

<上北山村立体育館>



玄関柱 ひび割れ



基礎 すき間



軒天 植物の繁茂



壁板 劣化



天井パネル 浮き



窓ガラス 破損

<民俗資料保存館>



屋根 損傷



柱 ひび割れ



玄関 壁板の欠損

## (2) 主要施設の役割

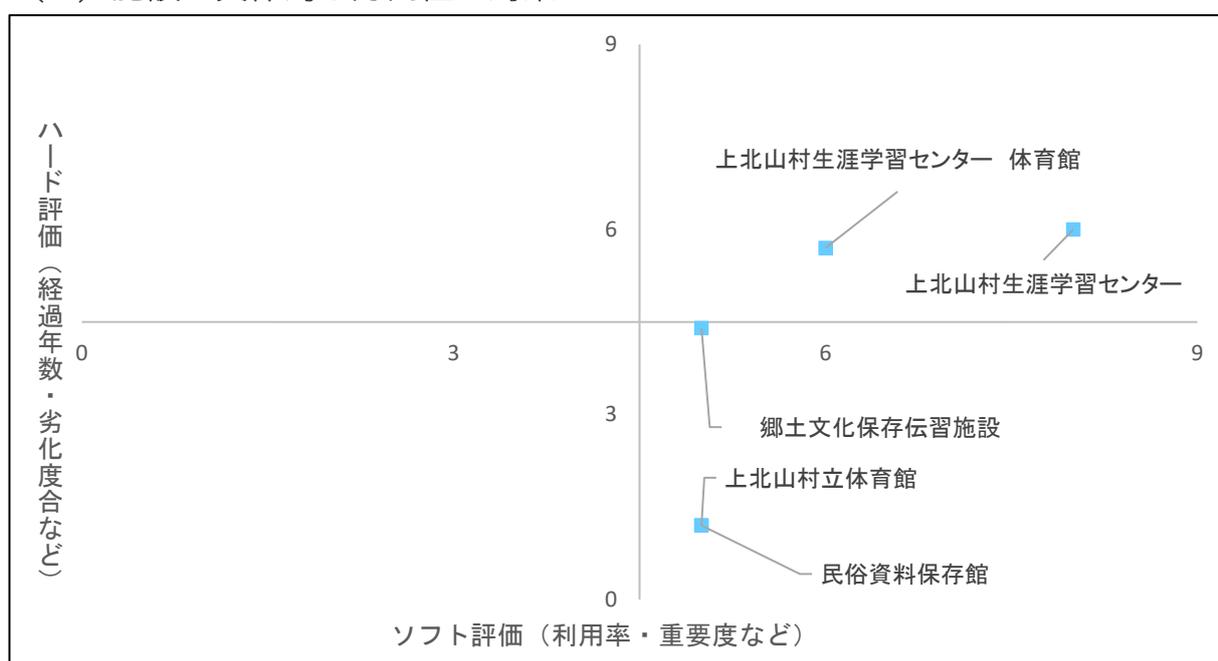
### ■上北山村生涯学習センター

旧上北山小学校を改修し、様々な活動を行うことができる複合施設としてリニューアルした施設です。1階部分は宿泊施設があり、食堂やコミュニティカフェを通じて郷土料理や家庭料理の提供によって住民の活躍と雇用の場の創出を目指しています。2階部分は教室をシェアオフィスに改修し、住民グループの活動拠点としての利用を見込んでいます。3階部分は「知る・調べる」をテーマに、「小さな図書館」、「多目的ルーム」、「歴史・文化資料展示室」、「音楽と映像の交流室」、「村民の社会教育と生涯学習室」を設置し、知識欲や向上心を満たす楽しみの場を提供します。

### (3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名称	取得価額 (千円)	改築(建替え) 費用(千円)	長寿命化改修費 用(千円)
24	上北山村生涯学習センター	476,243	864,400	518,640
25	上北山村生涯学習センター 体育館	133,992	243,200	145,920
26	郷土文化保存伝習施設	22,000	49,352	29,611
27	上北山村立体育館	41,891	102,800	61,680
28	民俗資料保存館	17,506	73,708	44,225

### (4) 施設の具体的な方向性・対策



#### 24. 上北山村生涯学習センター

方向性	長寿命化	2017(平成29)年に大規模改修を行い、旧小学校から用途変更を行いました。現在は複合施設として多目的に利用されており、1階は宿泊施設や食堂があり、合宿や研究実習の活動拠点として利用されています。2階はシェアオフィスとして利用されており、3階は住民の知識欲や向上心を育てる図書館や学習室を設置しています。避難所としての指定があり、防災上も重要度の高い施設です。
取得価額	476,243千円	
減価償却率	79.20%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程		長寿命化改修	長寿命化改修							
対策コスト(千円)		261,520	261,520							

※劣化状況にA評価があるため、長寿命化改修費用から部位修繕相当額を差し引いて対策コストを算出しています。

## 25. 上北山村生涯学習センター 体育館

方 向 性	長寿命化	健康維持、体力づくりのためのトレーニングジムやボルダリング施設を設置しています。生涯学習センター本館と一体的に管理を行うため、同様に長寿命化の方向性で管理します。
取 得 価 額	133,992千円	
減価償却率	79.20%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程		長寿命化改修	長寿命化改修							
対策コスト(千円)		88,436	88,436							

## 26. 郷土文化保存伝習施設

方 向 性	維持	村内の郷土芸能等の保存・伝承活動の拠点として利用されており、公民館としても利用されています。避難所として指定されており、防災上重要な施設ですが、今後の人口減少等の状況により当該施設の存続を判断することとしており、当面は機能維持に努めます。
取 得 価 額	22,000千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 27. 上北山村立体育館

方 向 性	維持	剣道指導の場として主に利用されており、代替となる施設は他にありません。しかしながら、老朽化が進んでおり耐震性に不安があるため、今後の方向性について検討します。
取 得 価 額	41,891千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 28. 民俗資料保存館

方 向 性	維持	本村の歴史・民俗資料及び近代における生活用具等を展示し、先人が築いた歴史や伝統を学び、後世に継承するために設置された施設です。2009年（平成21）年に1階の民俗資料保存室を改修しています。耐震性に問題があり、長期的な利用が難しいため、施設の方向性について検討します。
取 得 価 額	17,506千円	
減価償却率	-	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

## 9. その他の方針

### (1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
29	旧 NTT 宿舍	S	2001	34	C	B	B	C	C
30	旧関西電力営業所賃家	W	1968	22	D	D	C	C	C
31	白川職員住宅	W	1992	22	B	B	B	A	A
32	上北山やまゆり学園教職員寮	S	1994	34	B	B	C	B	B
33	小椽教員住宅	W	1980	22	D	C	C	C	C
34	河合教員住宅	RC	1979	47	C	C	C	B	B
35	医師住宅	W	1994	22	B	B	B	A	A
36	旧保育園	RC	1974	34	C	C	C	C	C
37	マイクロバス車庫	W	1999	17	B	B	B	A	A

#### <旧NTT宿舍>



基礎 鉄骨の錆



軒 損傷



玄関（西側）軒天 浮き

#### <旧関西電力営業所賃家>



玄関軒裏 木材の腐食



1階天井 雨漏り跡



バルコ階段 錆

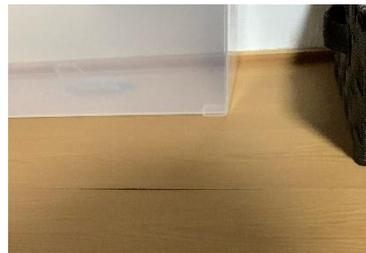
<白川職員住宅>



軒裏 剥がれ

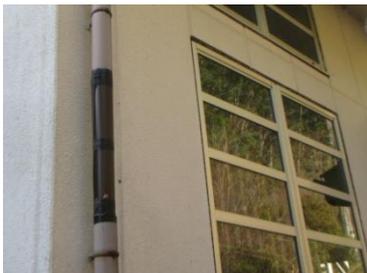


立上り 剥がれ



第2号住宅 床浮き

<上北山やまゆり学園教職員寮>



縦樋 補修箇所



雨漏り跡



換気扇 汚れ

<小椋教員住宅>



玄関 壁板の欠落

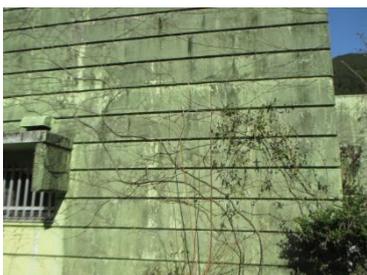


天井板 欠落



屋根 苔の発生

<河合教員住宅>



外壁 汚れ及び植物の繁茂



縦樋の塗装剥がれ及び障子紙の破れ



天井 雨漏り跡

<旧保育園>



階段 タイルの欠落



外壁 汚れ



タイル 欠損

<マイクロバス車庫>



外壁 劣化

(2) 主要施設の役割

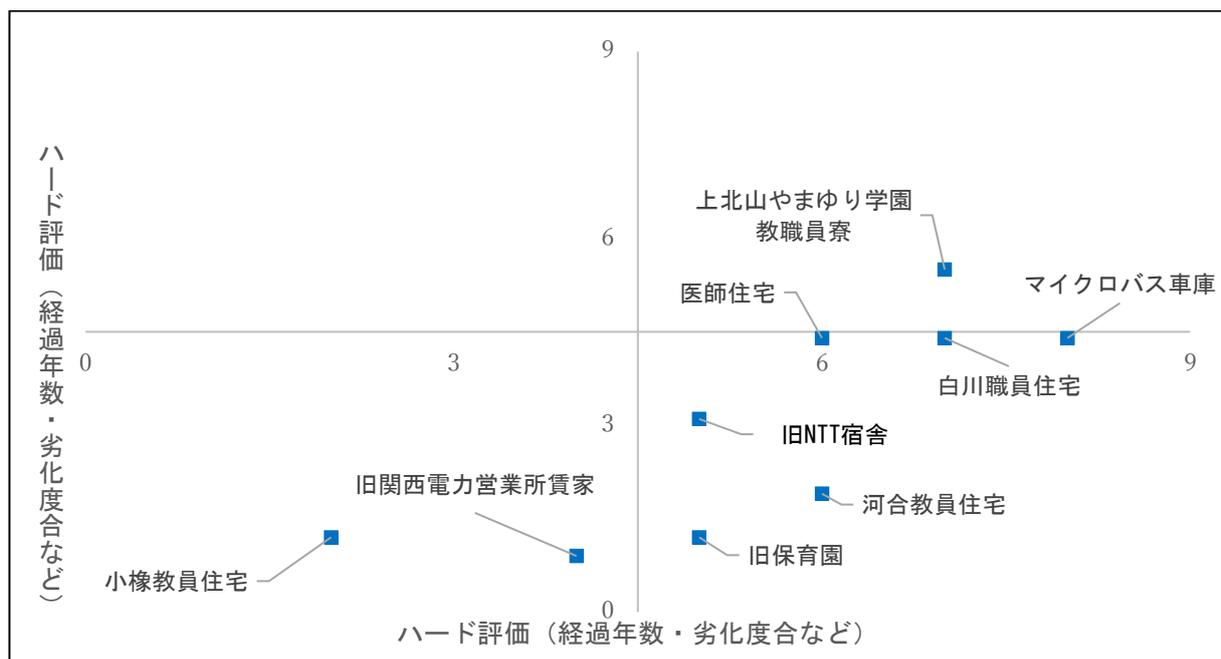
■教員住宅

本村は奈良県の南東部に位置し、村外からの通勤は不便と言わざるを得ない実態から、教職員向けに住宅を設置しています。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名称	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用 (千円)	長寿命化改修 費用 (千円)
29	旧 NTT 宿舍	1,081	48,362	29,017
30	旧関西電力営業所貸家	2,785	30,096	18,058
31	白川職員住宅	23,555	42,926	25,756
32	上北山やまゆり学園教職員寮	135,960	214,466	128,680
33	小椽教員住宅	12,451	28,919	17,351
34	河合教員住宅	32,560	63,360	38,016
35	医師住宅	35,398	64,390	38,634
36	旧保育園	100,554	210,944	126,566
37	マイクロバス車庫	10,339	34,200	20,520

#### (4) 施設の具体的な方向性・対策



#### 29. 旧NTT宿舎

方向性	維持	NTTの社宅を購入し、職員の住宅として利用しています。2棟からなる施設ですが、うち1棟は公営住宅として利用されています。入居者がいるため、当面は機能維持に努めます。
取得価額	1,082千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

#### 30. 旧関西電力営業所賃家

方向性	維持	関西電力営業所の社宅を購入し、職員住宅としていましたが、現在は漁業組合に貸し出し、組合事務所として利用されています。老朽化が著しく、安全性が低いため、今後の方向性について漁業組合と検討を行います。
取得価額	2,785千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 31. 白川職員住宅

方 向 性	長寿命化	単身用の職員住宅で4世帯の入居が可能です。現在は全部屋が利用されています。本村の職員住宅の中では比較的新しく、今後の利用も予想されることから、方向性を長寿命化としています。
取 得 価 額	23,555千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 32. 上北山やまゆり学園教職員寮

方 向 性	長寿命化	へき地学校に勤務する教員及び職員のための福利厚生施設として設置している単身用の教員住宅です。本村の教員住宅の中では比較的新しく、今後の利用も予想されることから、方向性を長寿命化としています。
取 得 価 額	135,960千円	
減価償却率	72.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕							
対策コスト(千円)	1,310	1,310	1,310	1,310	1,310	1,310	1,310	1,310	1,310	1,310

### 33. 小椽教員住宅

方 向 性	維持	へき地学校に勤務する教員及び職員のための福利厚生施設として設置している1戸建て2階建ての家族向けの住宅です。修繕により機能維持に努めます。
取 得 価 額	12,451千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 34. 河合教員住宅

方 向 性	長寿命化	へき地学校に勤務する教員及び職員のための福利厚生施設として設置している、やまゆり学園の敷地内にある家族向けの教員住宅です。従前より教頭が利用する教員住宅としており、学校管理の面でも重要な施設であることから、方向性を長寿命化としています。
取 得 価 額	32,560千円	
減価償却率	85.80%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修							
対策コスト(千円)	4,147	4,147	4,147	4,147	4,147	4,147	4,147	4,147	4,147	4,147

### 35. 医師住宅

方 向 性	改築	診療所に勤める医師や保健師及び看護師用の住宅として利用されています。重要な施設ではありませんが、木造のため、劣化度合を考慮しつつ築50年を目途に建替えを行う方針としています。
取 得 価 額	35,398千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 36. 旧保育園

方 向 性	維持	2017（平成29）年に保育園が移転し閉鎖していた施設を一時的に林産物加工所として利用しています。保育園の機能は保・小・中一貫教育校であるやまゆり学園にありますが、園児数が増えれば当該施設を保育園として再開する可能性があります。利用用途が決まるまでは、修繕を行いながら機能維持する方針です。
取 得 価 額	100,554千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

### 37. マイクロバス車庫

方 向 性	維持	コミュニティバス等、3 台のバスの車庫として利用されています。構造がシンプルなカーポートのような造りであるため、修繕により機能維持に努めます。
取 得 価 額	10,339千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
工程										
対策コスト(千円)										

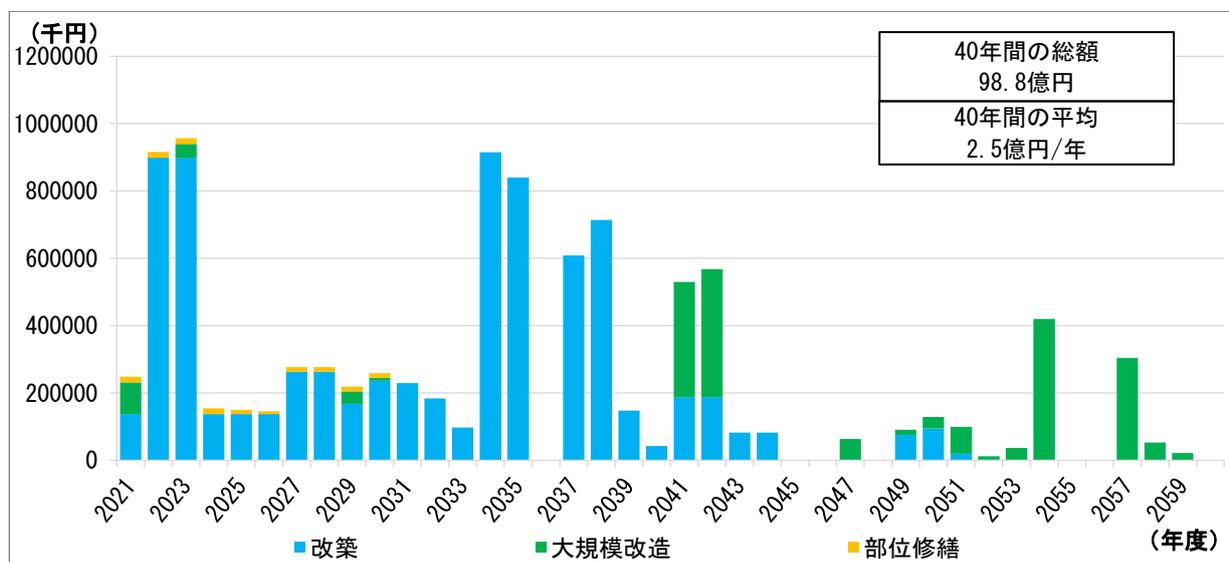
# V まとめ

## 1. 個別施設計画の達成による財政効果

建物の長寿命化に取り組みながら施設の統廃合についても検討を進めるという本計画の方針を実施した場合、つまり従来型から長寿命化型へ対応した場合、その財政効果は40億円と試算されました。

しかしながら、依然として財政的には厳しい状況は続きます。本計画を着実に実行しつつ、施設の利用や劣化度合の把握を今まで以上に行い、将来的な計画の更新を見据え、検討を始める必要があります。

◆従来までの方針で試算した場合の費用◆

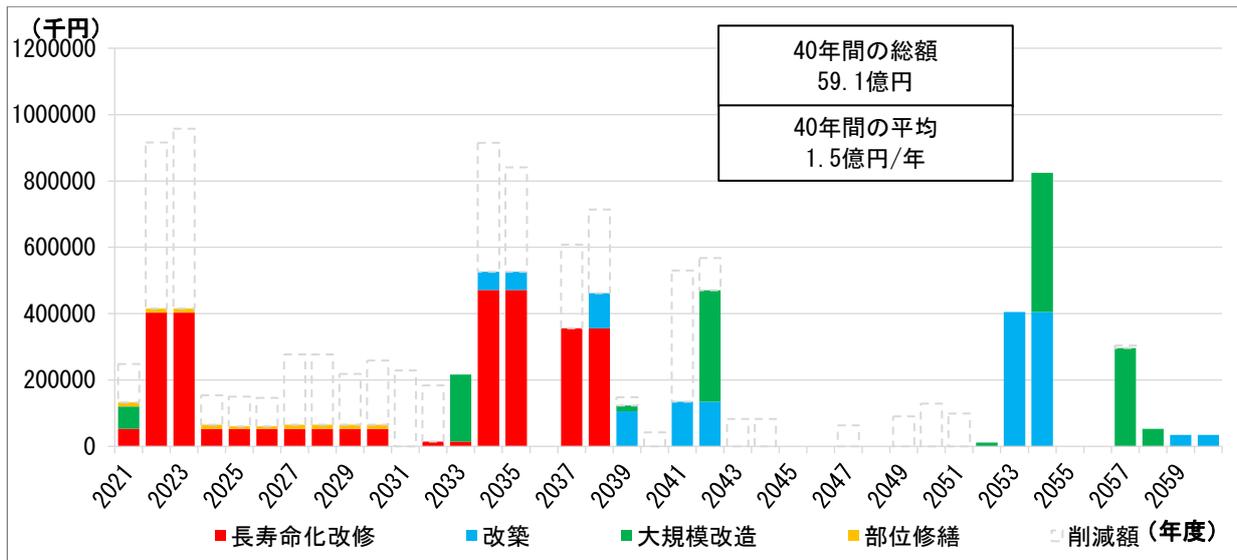


【単純更新費用】

(単位：千円)

	2021～2030年	2031～2040年	2041～2050年	2051～2060年	合計
スポーツ・レクリエーション系施設	178,426	1,603,411	284,337	400,853	2,467,026
行政系施設	1,120,750	88,155	354,692	41,312	1,604,909
医療施設	66,438	1,186,400	-	296,600	1,549,438
村民文化系施設	557,595	115,864	311,520	11,845	996,824
産業系施設	1,007,915	125,232	246,218	31,308	1,410,673
社会教育系施設	317,124	271,130	163,040	67,782	819,076
その他	364,291	388,344	186,720	97,086	1,036,442
合計	3,612,540	3,778,536	1,546,527	946,786	9,884,389

◆更新方針適用・長寿命化への転換を行った場合の費用◆



【更新方針適用後の費用】

(単位：千円)

	2021～2030年	2031～2040年	2041～2050年	2051～2060年	合計	削減効果
スポーツ・レクリエーション系施設	114,136	841,723	269,305	344,172	1,569,336	△ 897,690
行政系施設	485,670	202,362	-	809,450	1,497,482	△ 107,427
医療施設	66,438	711,840	-	296,600	1,074,878	△ 474,560
村民文化系施設	-	-	-	-	-	△ 996,824
産業系施設	-	211,309	-	52,827	264,136	△ 1,146,537
社会教育系施設	699,913	-	335,636	-	1,035,550	216,474
その他	54,574	255,998	-	156,879	467,451	△ 568,991
合計	1,420,731	2,223,233	604,941	1,659,928	5,908,834	△ 3,975,555

## 2. 個別施設計画における現状認識と推進体制

### (1) 課題に対しての現状認識

本村においても全国の状況と同様に公共施設の老朽化が進行し、多くの施設が更新時期を迎える中、少子高齢化による税収の減少や社会保障経費の増加などにより厳しい財政見通しであることに変わりはなく、全ての公共施設の数や規模をそのまま維持管理し、更新していくことは難しいと考えられます。このように財政状況が厳しさを増す中、村民のニーズに対応したまちづくりに対応するため、老朽化した施設の長寿命化、継続使用、廃止を計画的かつ効率的に実施していきます。

本計画にて各施設の「ハード評価」と「ソフト評価」を実施したことで、施設のあり方が見える化されました。今後は各施設の方向性に対して具体的な行動を起こさなければならない選択に迫られますが、この見える化された情報を活用し、具体的な行動の優先順位付けを行っていきます。

### (2) 推進体制

「上北山村総合計画」や「上北山村公共施設等総合管理計画」を前提とすることにより、公共施設等の現状や課題を統一的に把握し、維持、保全等の管理を全庁的に取り組みます。また、施設利用者や村民との情報共有や合意形成にあたっては、随時情報提供を行い、村全体で共有化を図ります。

<参考資料>

【基本的な用語】

長寿命化	建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
保全	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能や機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。
予防保全	損傷が軽微である早期段階から、性能や機能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
維持管理	建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能や機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。
更新	既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義である。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあたり、利用上、著しく不適当な状態にあたりする既存の建物を「建て替える」こと。
修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものとおおむね同じ位置におおむね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
大規模改修	一定の年数が経過することにより通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や建物の用途変更に伴う改装等を指す。
長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、性能や機能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。

【各計画の概要】

インフラ 長寿命化基本計画	国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するための方向性を示すものとして、国や地方公共団体、その他民間企業等が管理するあらゆるインフラを対象に策定された基本計画。（2013（平成25）年11月インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）
インフラ長寿命化計画 （行動計画）	インフラ長寿命化基本計画において、各インフラを管理・所管する者が、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにするものとして策定することとされた計画。地方公共団体が策定する行動計画は「公共施設等総合管理計画」に該当するものである。
個別施設毎の長寿命化計画 （個別施設計画）	インフラ長寿命化基本計画において、各インフラの管理者が、個別施設毎の具体的な対応方針を定めるものとして策定することとされた計画。

# 上北山村個別施設計画

上北山村役場 総務課

奈良県吉野郡上北山村大字河合330番地

電話：07468-2-0001（代表）